

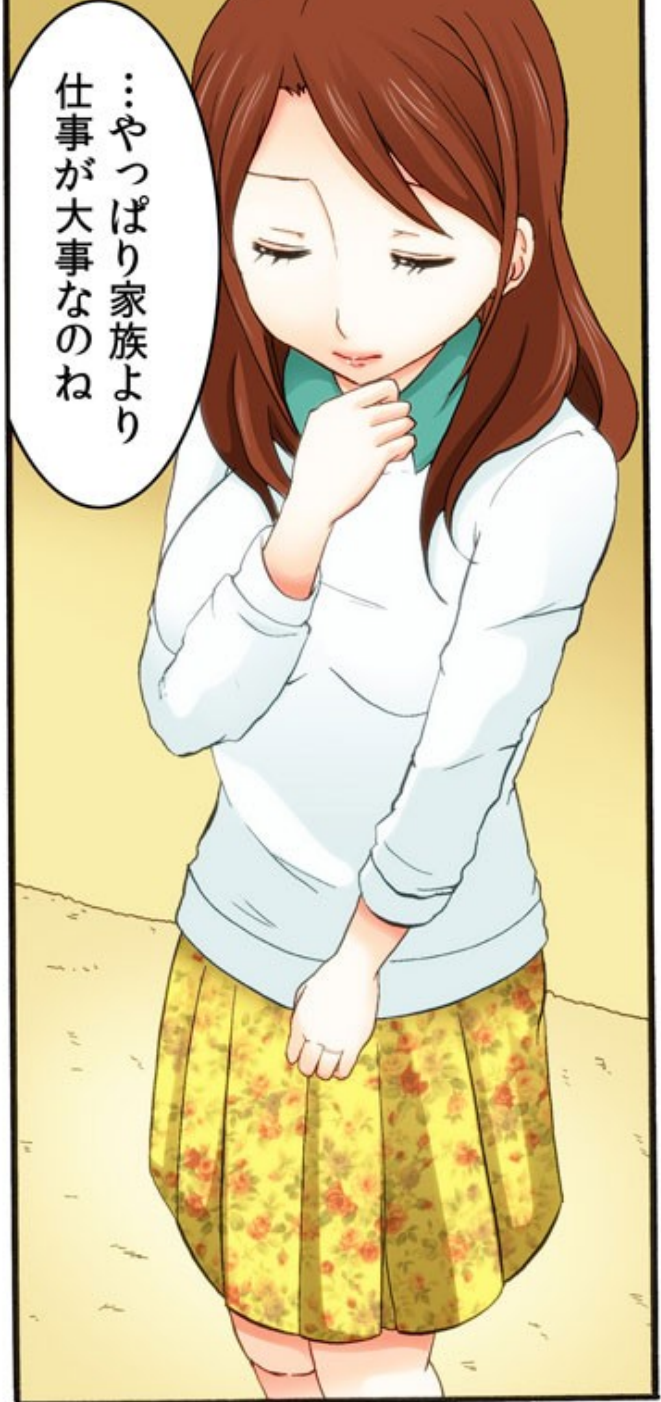


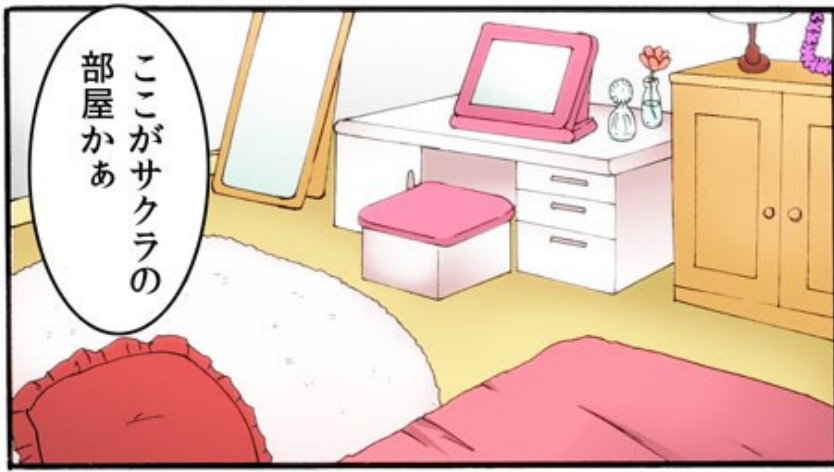
娘の夫に 迫られて

快樂に負けた人妻







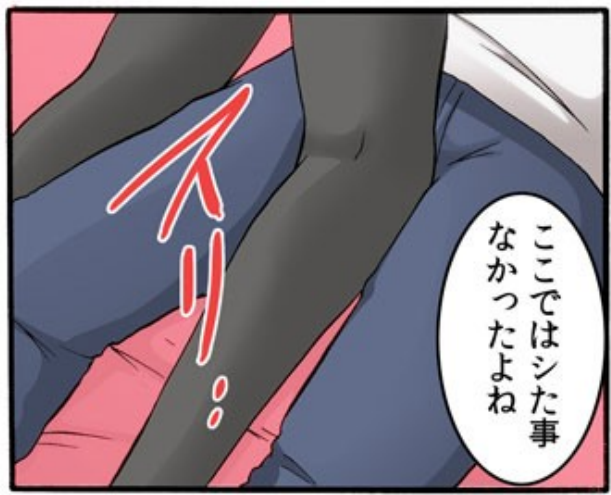




妊娠してから
全然してないじゃん

ハァ
ハァ
ハァ

私…もう
我慢できないよ



ここではシタ事
なかったよね

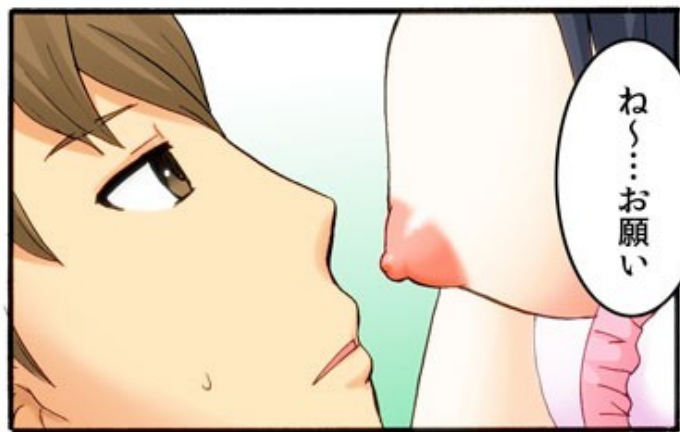


ダメだよサクラ
無理したら…

まだ4週目だよ？
悠人心配しすぎ



んふッ♡



ねっ…お願い



悠人が赤ちゃん
みたい♡

あっ…
や…んっ

ちゅっ
ちゅっ
ちゅっ
ちゅっ



悠人さんの…
大きい…

あ…あんなに
深く繋がって…



あア~~~~~シシシ
やっ…あっ♡
激しっ…よオッ

グ
ッ
ッ
ッ

グ
ッ
ッ
ッ

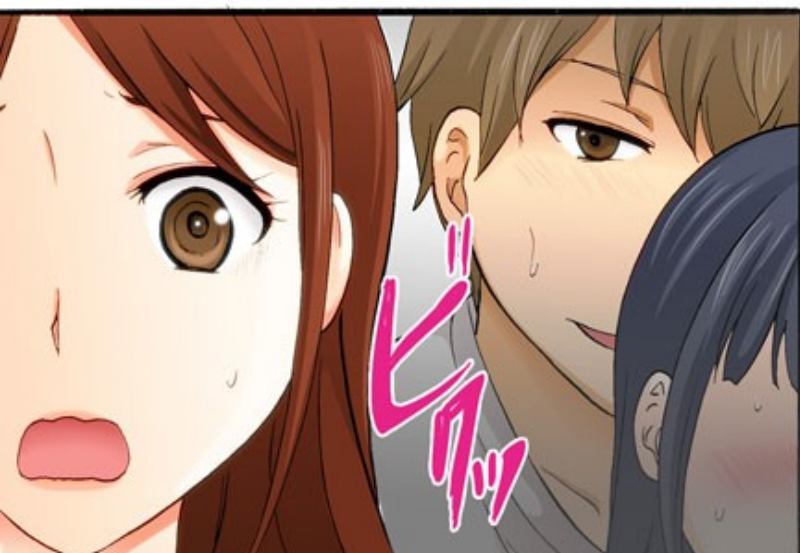
ハ
ッ
ッ
ッ



あ
あ
あ
あ
あ
シ
シ
シ
シ
シ
♡
♡
♡



ど…したのお♡
急に激しくっ…



ビ
ッ
ッ
ッ



私…も
あんな風に…

ハ
ッ
ッ

ハ
ッ
ッ

じ
ゃ
っ





お義母さん



部屋まで
来られたんですね

パジャマ…
ありがとうございます



ああ…私いつから
セックスしてないんだろっ…

あんなもの
見ちゃったら
私も…

もじ



悠人さん

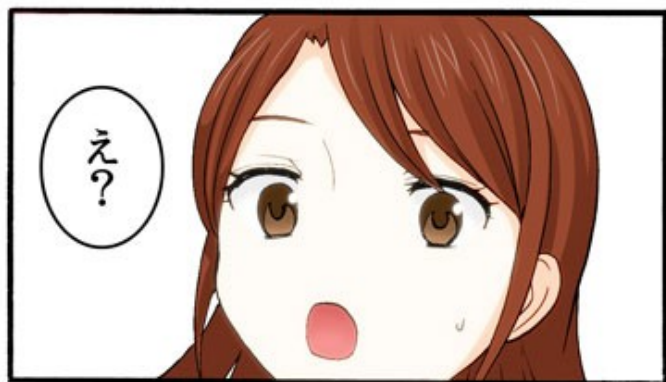


お義母さん？

えっ…あ ハイッ！



僕らのコト…
見えましたね





そうね…
じゃあ少し
いただくわ



眠れないようでしたら
お付き合いしますよ



はあ…



ふふっ…悠人さんは
優しいのね

私なんて
主人に全然相手…



やっぱりサクラから…
ごめんなさい
サクラ強引なところ
があるから

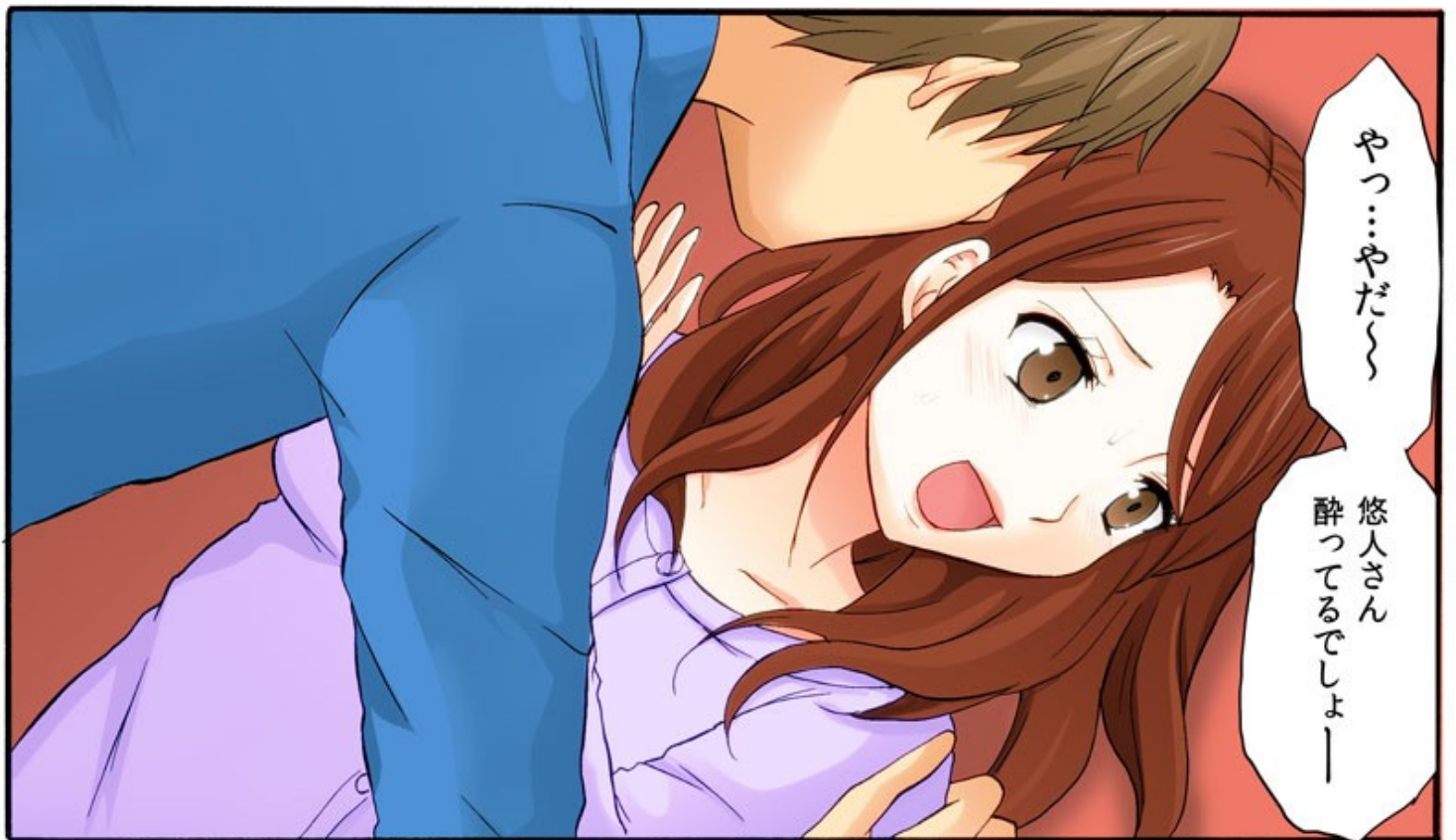
いえ…
最近忙しかった僕にも
責任がありますから



部…お義父さんに?

っ…







わあく大きくて
キレイなおっぱいですね

おっお願い…
悠人さんやめて！
これ以上は…



やめて欲しいなら
もっと本気で
抵抗してください

僕は春香さんが
嫌がる事は
しませんよ？



ホン…ト嫌なのよ
ちから…
出ないのオツ

あっ♡

あやう



こんな「ト」されるの
久しぶりだから…

あっ♡

すごく敏感に
なってる…私…

うっ…あっ



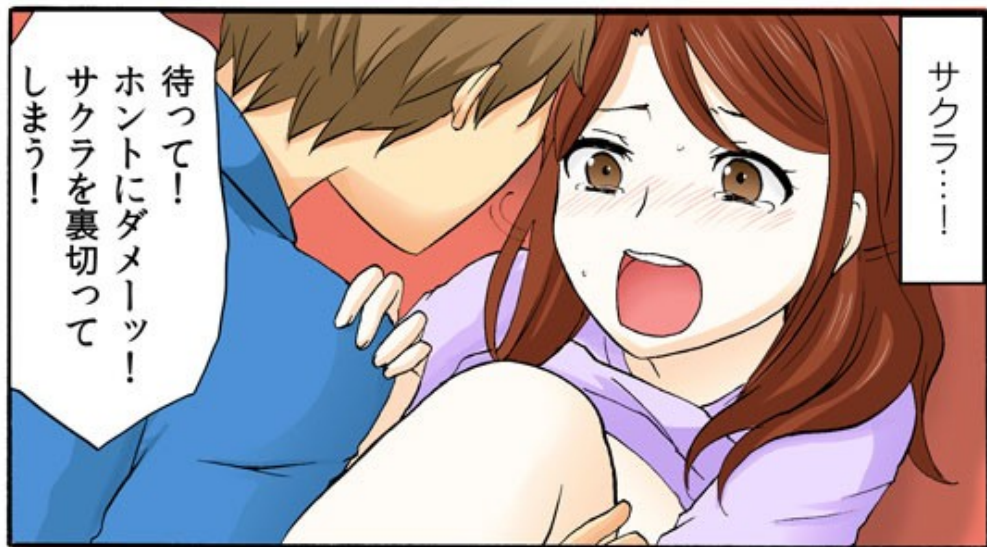
ス
ル
ッ



あっ…あマッ

ぬるう…

すごい…グッシヨリ
濡れてる





春香さんの中…
ぬっとりしてるのに
すごく締めつけてくる…

ふっ
うっ…うっ…



あア

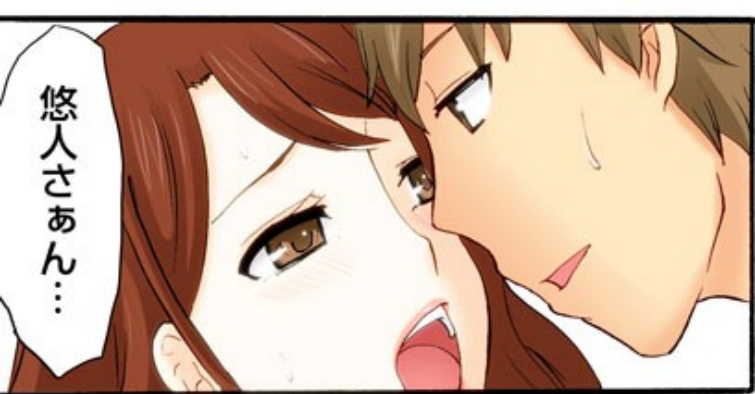
あ~~~~ン



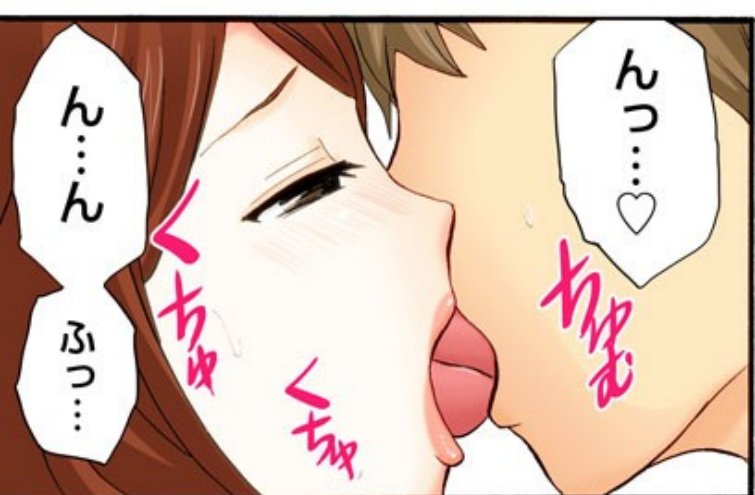
とても
サクラの親とは
思えませんよ

は…入っ…
ちやったあ…

はっはっはっ



悠人さあん…



んっ…♡

ん…ん
ふっ…

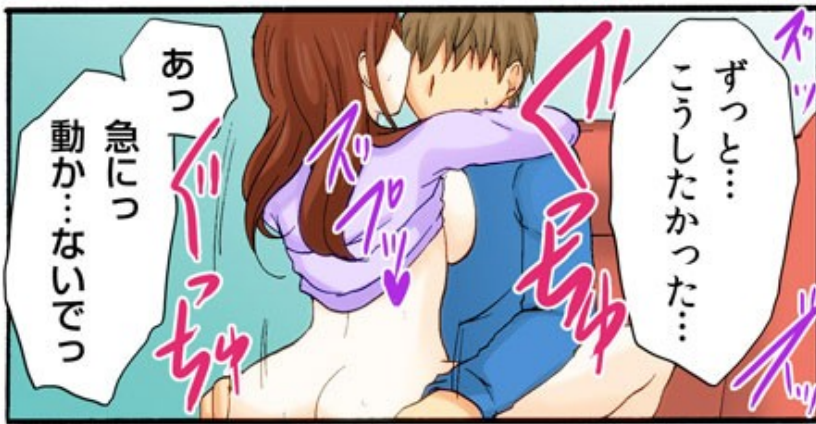
くちゅ
くちゅ
ちゅむ



あ…♡
あぁ…♡

あぁっ…
膣内が滑たされる
久しぶりい…♡

おん









サクラが起きてくるといけないから戻ります

あっ…悠人さん



春香さん…寝ちゃったら風邪ひきますよ

ゆ…とさん…?



夢を見ていたようなものよ…忘れなくちや…



このコトは2人だけの秘密にして…

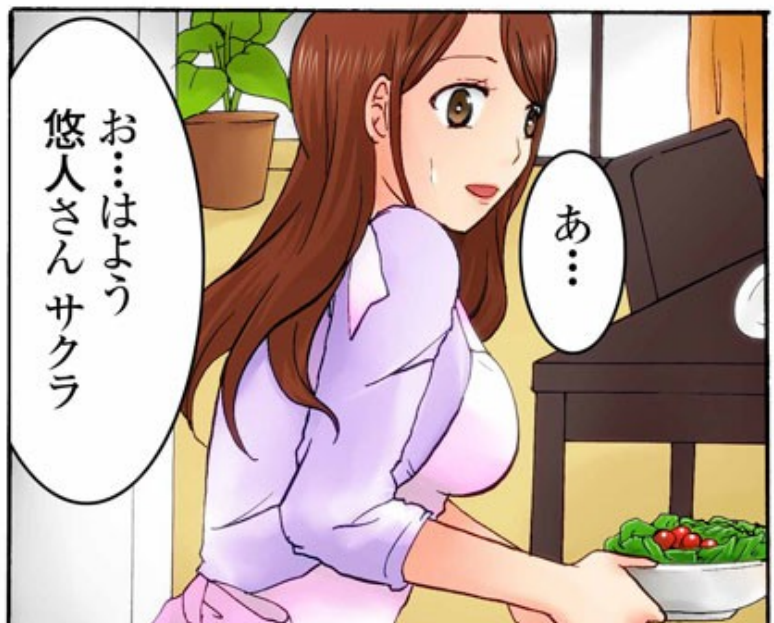


フツ…

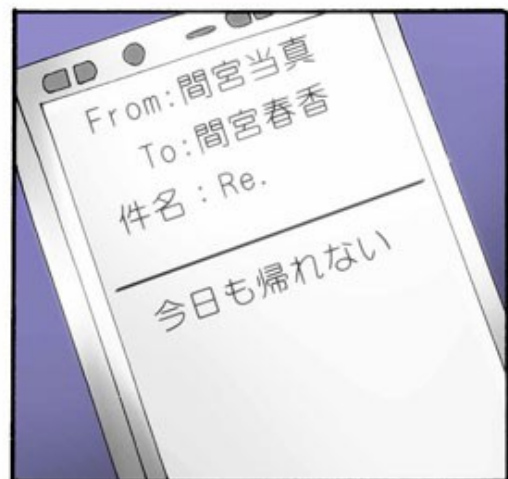


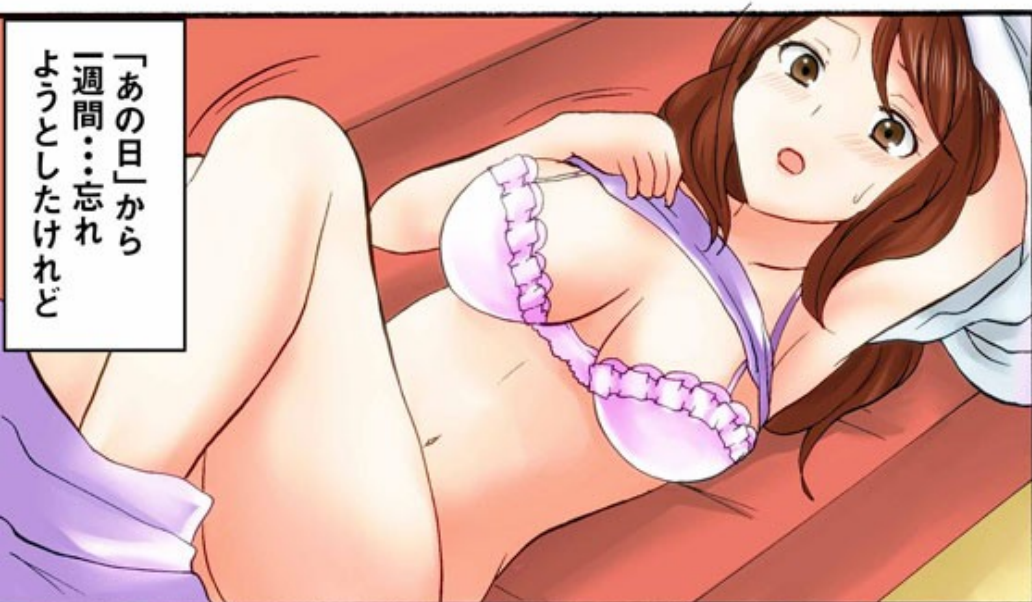
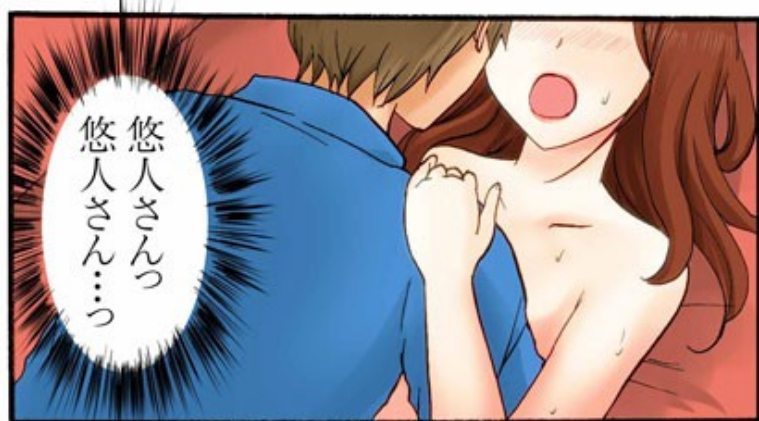
勿論です

お義母さん









私に女としての快感を
思い出させソレを
思い返しての自慰が
止められなかった…



ダメ…悠人さんは娘の
でも…奥におち〇ポが



キモチいい…
でも足りない…



悠人さんはもっと
奥を突いてくれた
指じゃ足りない…



欲しい…指じゃなくて
本物が…



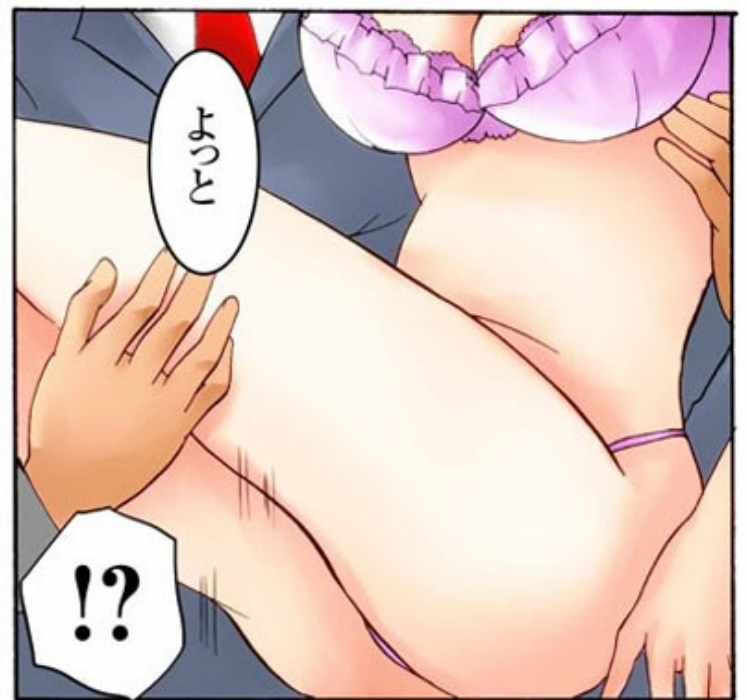
ちよつ…降ろして！
どこに行くの！

寝室です



なっなんでここに…

ダメなんですか？
もう「家族」じゃ
ないですか？



よつと

!?



前のアレよりも
気持ち良く…



ここで前よりも
もっと気持ち良く
してあげますよ



僕を思って自慰してくれた
んですからそれに応える
のが義務でしよう？



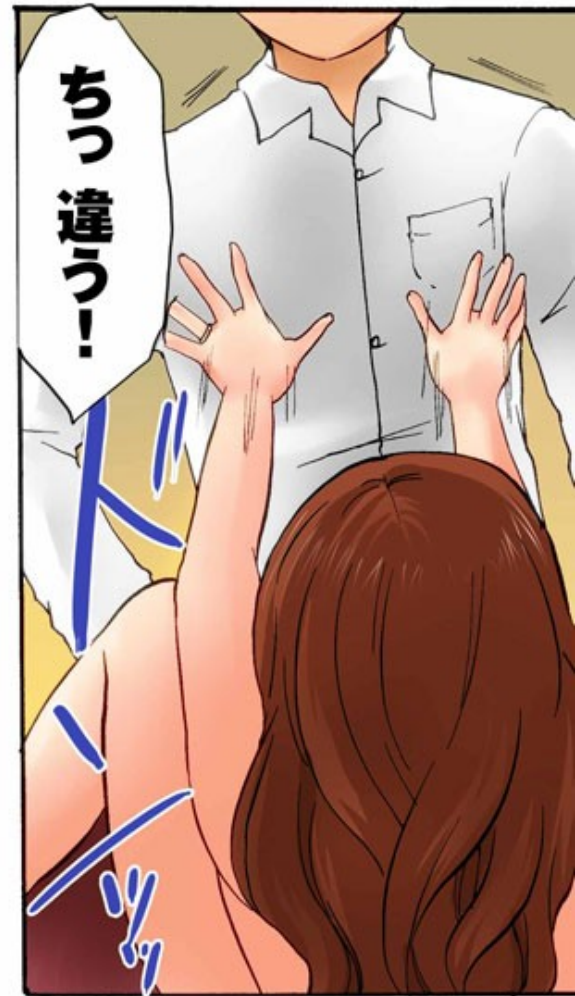
忘れられるワケない
ですよ…
それは春香さんも
一緒にしよう？



そつそんなコト
言つてもダメよ！



ああなたは娘の
夫になるのよ！
だから忘れないと
ダメなのっ！



ちっ違う！



強情ですね…なら
無理やりになでも
素直になつて
もらいますね

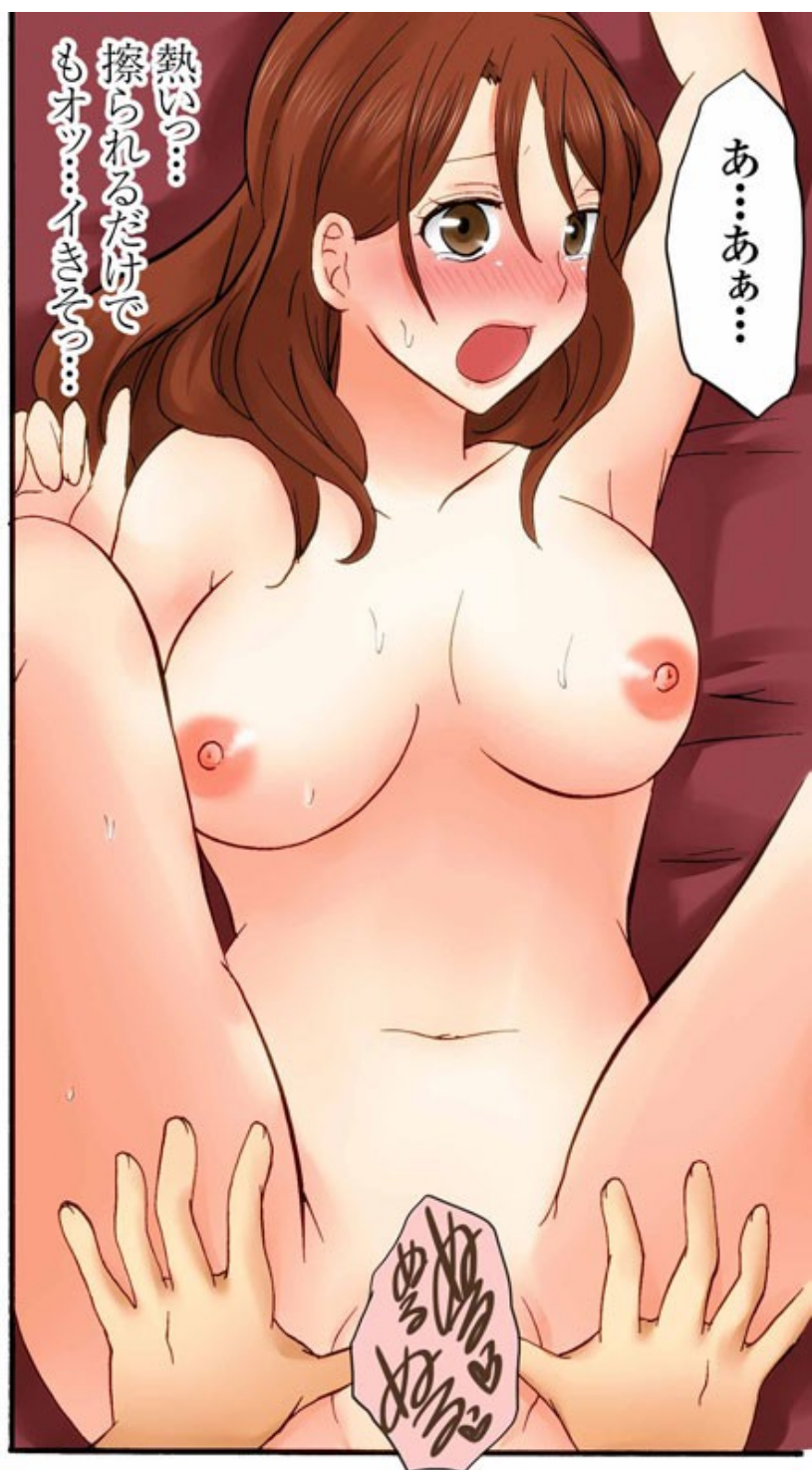


そつそんなコト…

でも春香さんもセックス
したいんでしょう？









んっ
ああ...これ
これが
欲しかったの!

あーんっ



よく言えました

ふアッ♡ ああーッ♡



指なんかよりずっと
気持ちいい!
奥がイイのオッ!



夫婦の
寝室なのに

主人以外と
セックスなんて!



いけないのに

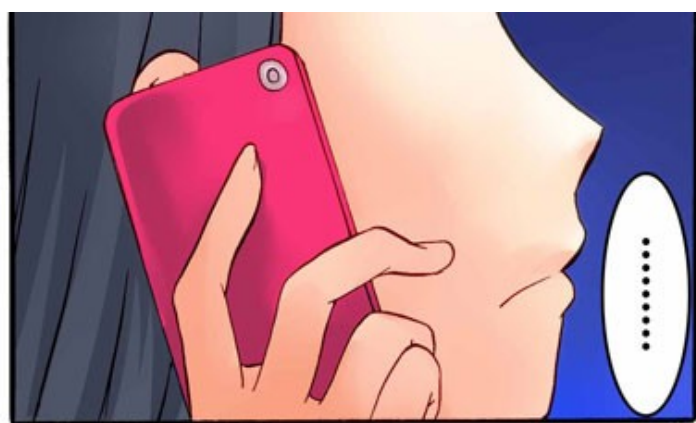
いけないって
思うほどに
感じちゃう...っ



うっ...うっ

おマ○コすごく
痙攣してる!

挿れただけで
イッちゃったの?



好きだよ...
春香さん



私つもオツ...♡
スキイツツ
悠人さんつっ



悠人出ない...
まだ仕事かなー?



止めてイイの?
そんなに動いているのに



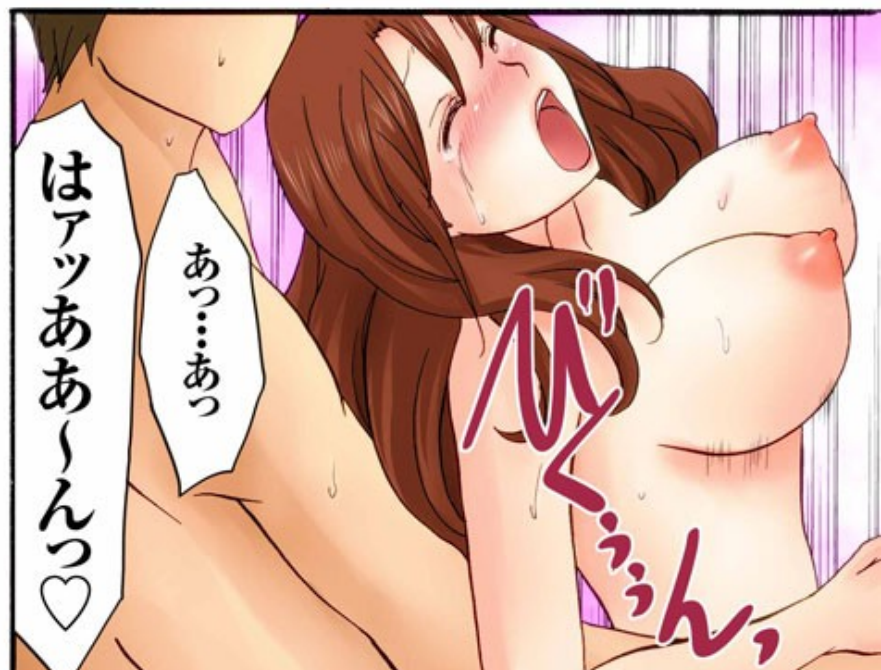
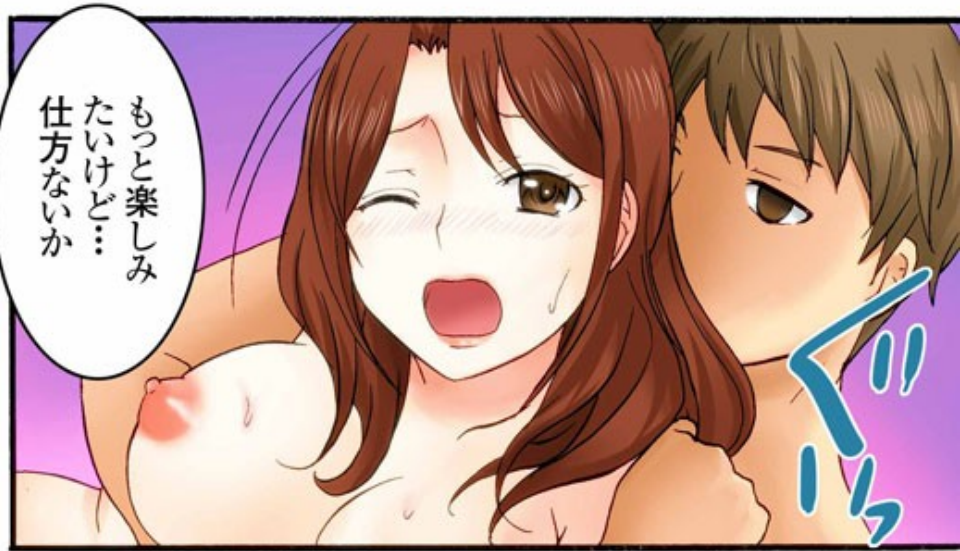
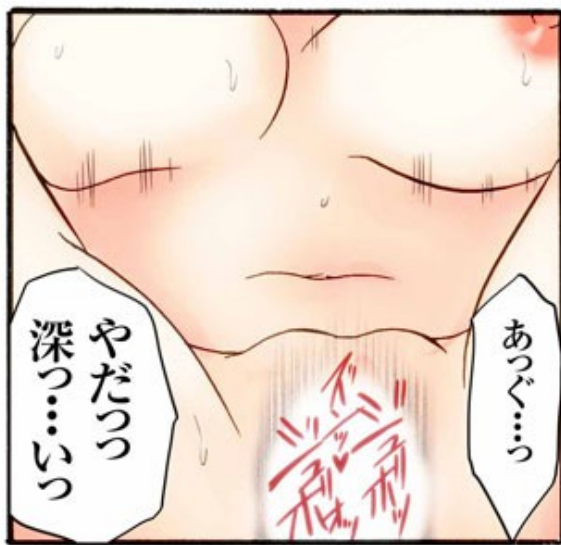
悠人さん...もっダメ

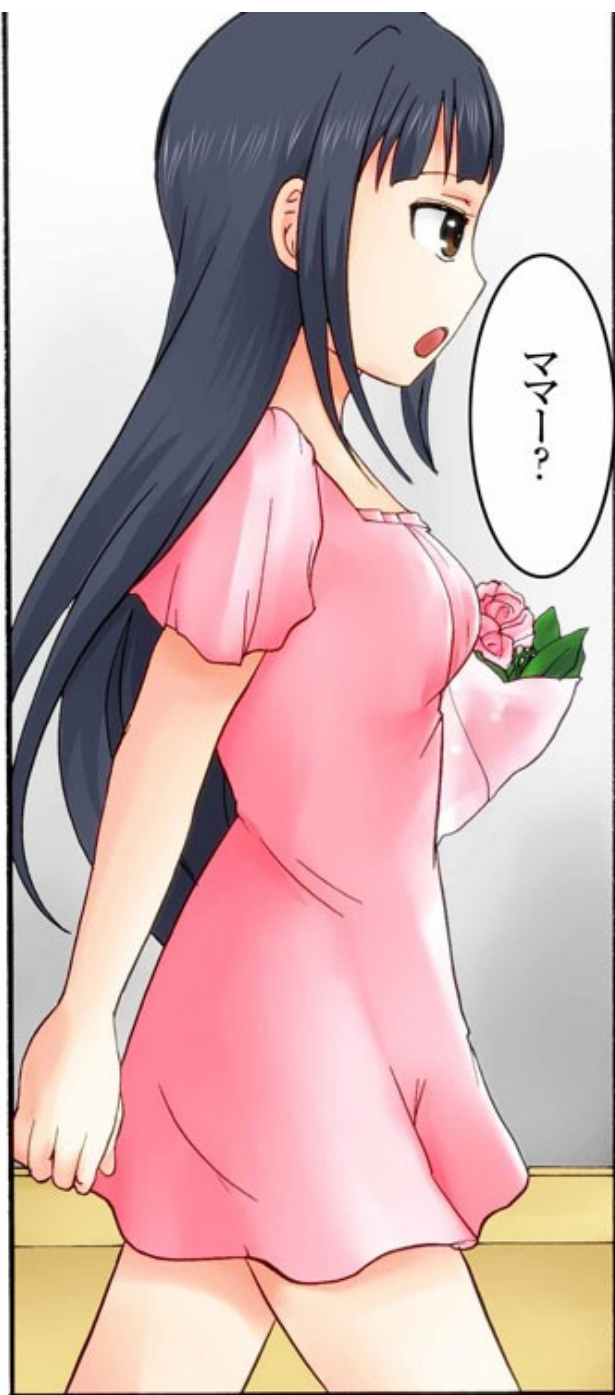
サクラ...
帰ってきちやう



はア...

はア...





ママー？



ただいま



しん



何ソレ〜♡

アレ？でも今日は遅くなるって言ってたよね？



悠人オ？
えーっ
なんでーっ？

サクラに会いたくなっちゃってね

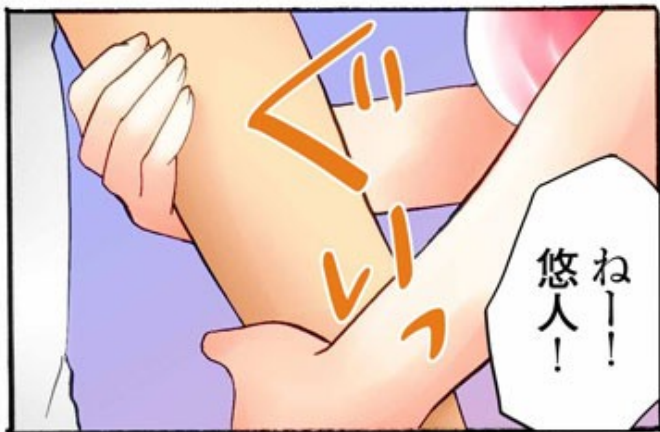
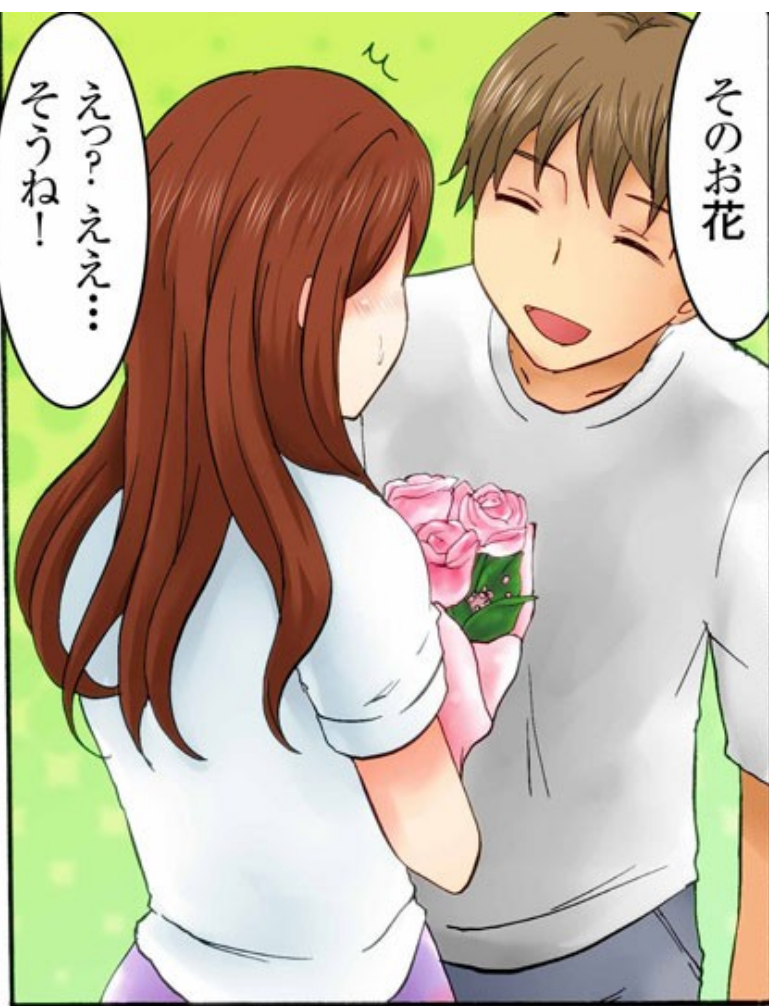


あ

おかえり

ガッ







そんな悪…

じゃーよろしくママ
行こう 悠人!



そんなわけ無いだろう?
でも急に泊まるなんて
お義母さんも迷惑じゃ…



大丈夫よ

ゆ悠人さんは
家族なんだから
遠慮しないで



悠人さんの匂い…



サクラ何か
怒ってる?

どうして…



サクラ…ごめん
疲れているんだ



ダメ…私には主人がいて
悠人さんはサクラの
夫になるんだから！

でも…私もっと…



なんでよーっ

全然元気に
ならないし！



愛してるよ

サクラ



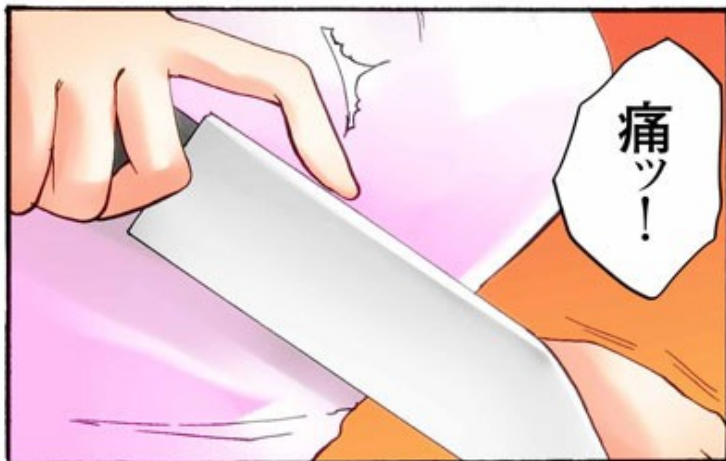
うー

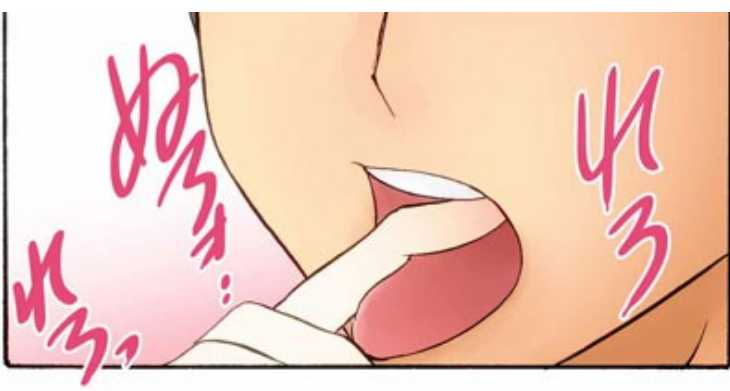
サクラが寝付くまで
こうしているから



チヨシ

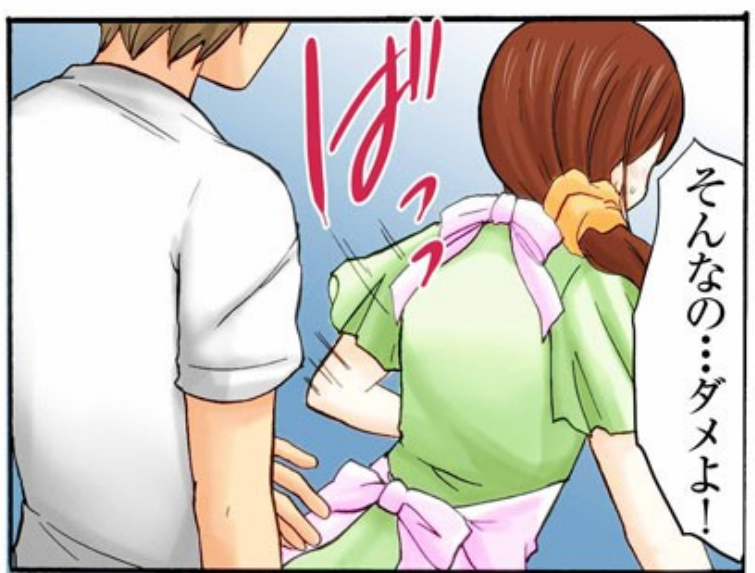
チヨシ







それより！
「あの写真」
もう消してくれたわよね？



そんなの…ダメよ！



僕ね…自分から
こんなに誰かを欲しく
なったの初めてなんです

たとえどんな
手を使っても

や…あつ



消しましたよ？
ケータイからは



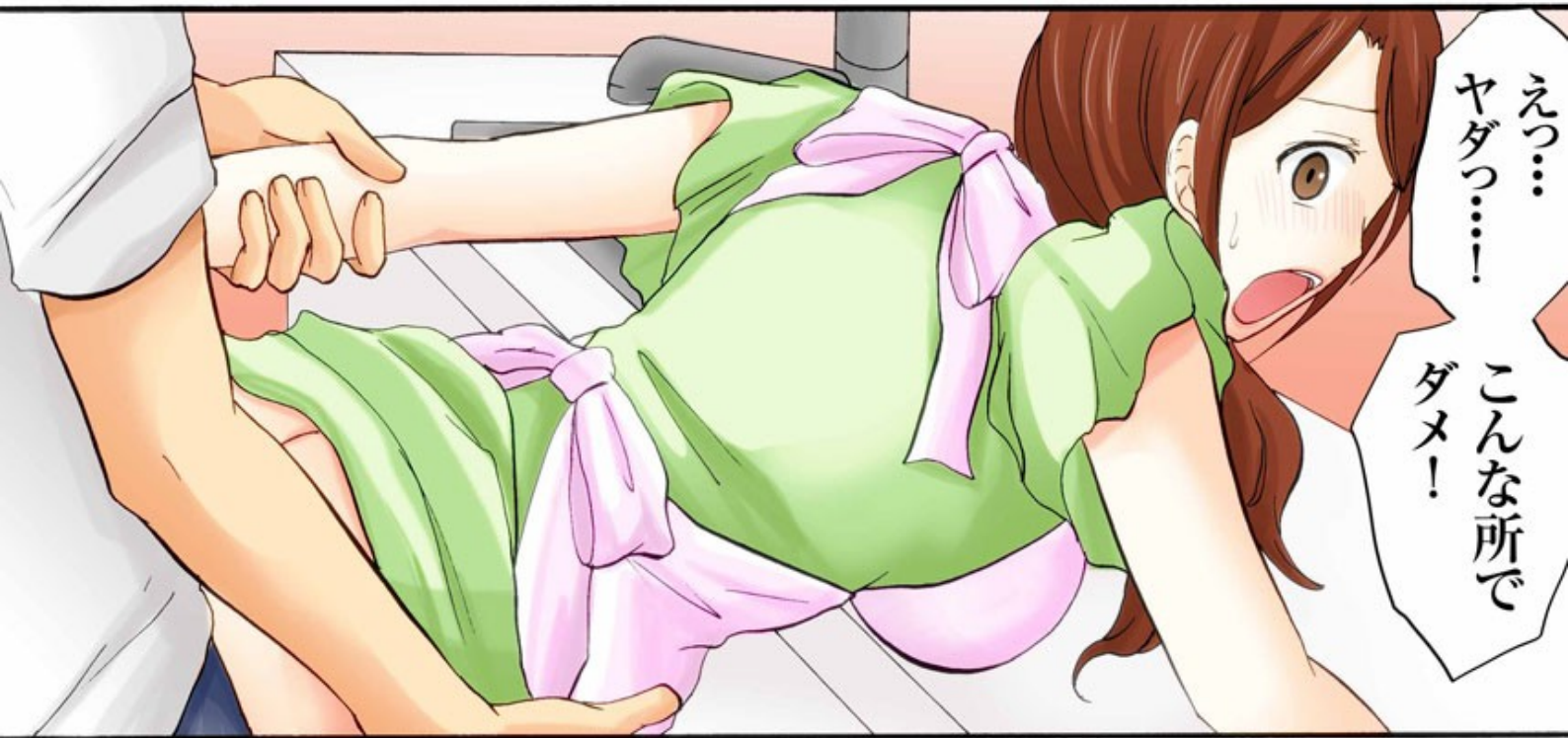
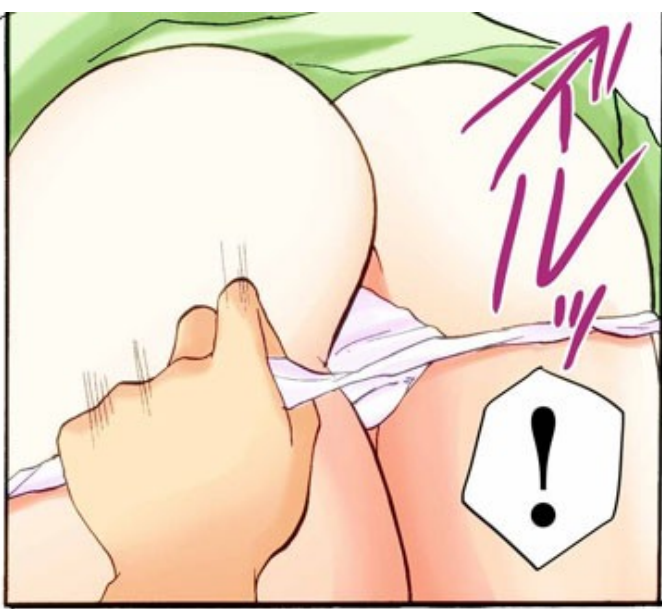
「ケータイ」
からって
え…あつ



さっきので
感じちゃいました？

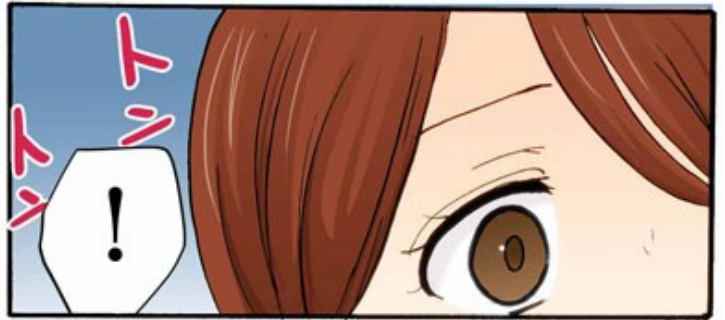
もう濡れてますね

んっ…ふっ…♡



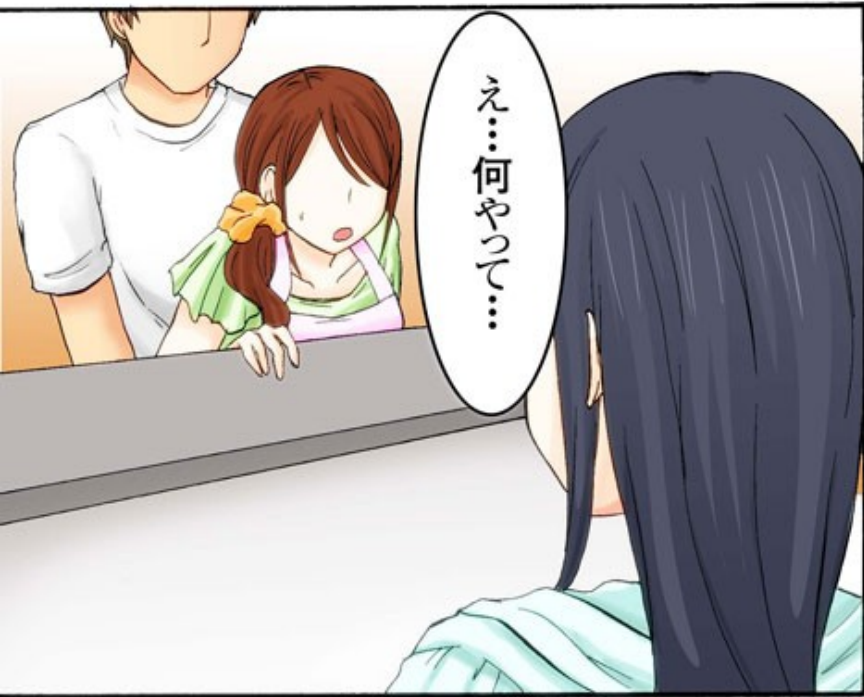


でも春香さんの
ここ...締め付けて
離さないですよ





いやっ!



え...何やって...



おはよ
悠人いるー?



こっちに逃げたから
探してるんだけどね...

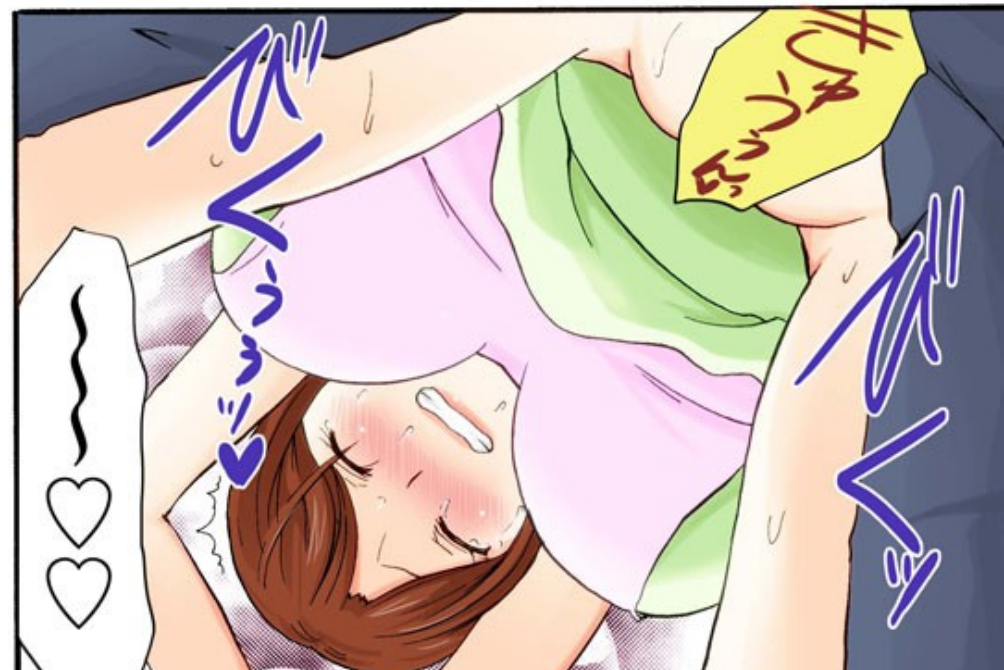
えっ! ヤダヤダ!
早く何とかして!

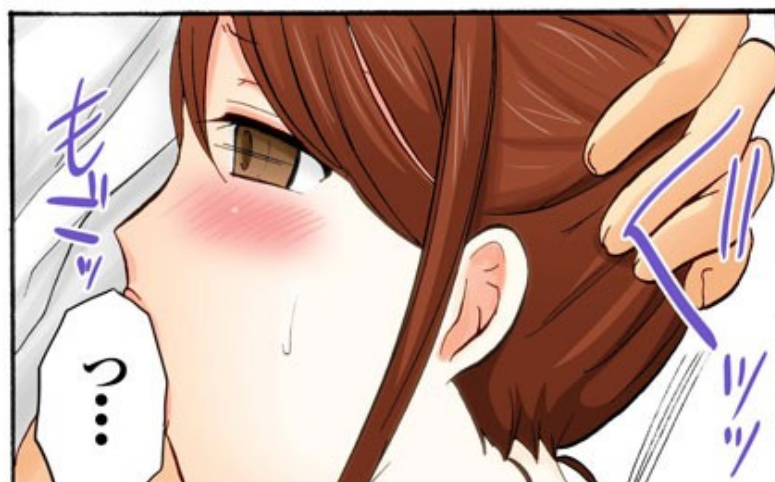
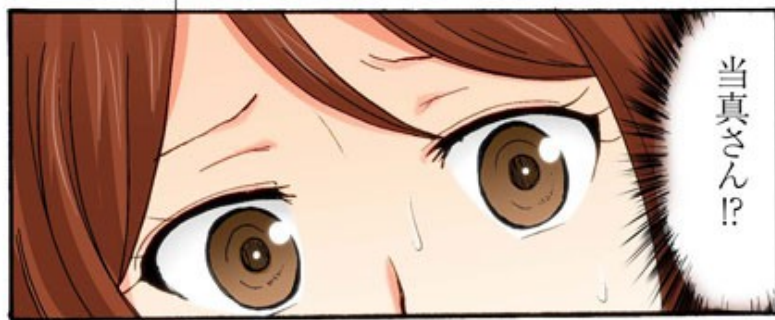
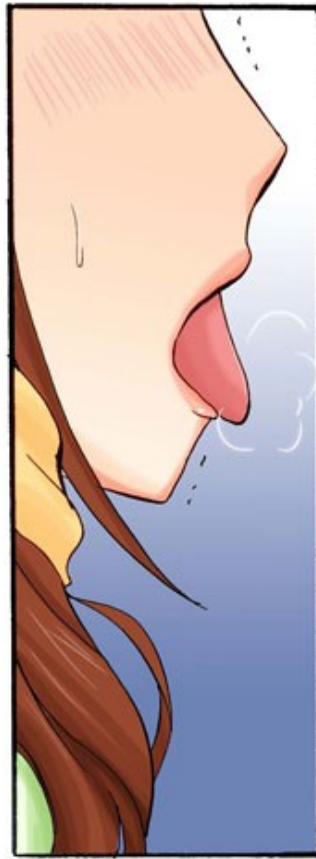


えっ! うそ!
無理ッッ



ゴキブリが
出たんだ







春香は？



えっ ええ…
お邪魔してます
部長は泊まりですか？

ああ 着替えたら
また出社だ
一緒に出ようか



腹減ったな…
何かあるかな？



?!



悠人さん！



…すぐに…出来ると
思いますよ

そーか…なら先に
シャワー浴びるか



戻ってくれば
すぐ

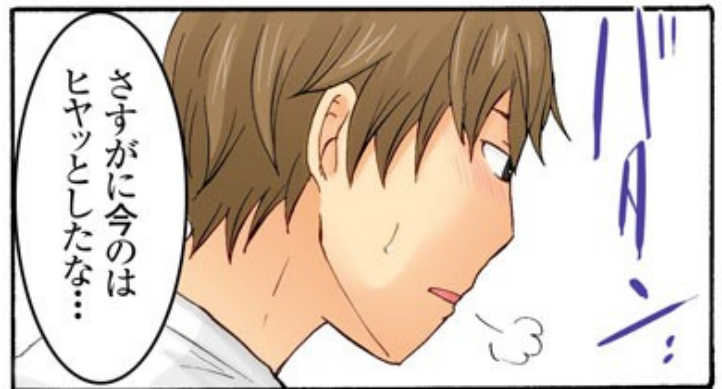
っ…!



さっきまでお義母さんが
朝食の用意を
してましたよ



さっきは危なかった…
こんなコト…
いつかバレてしまう

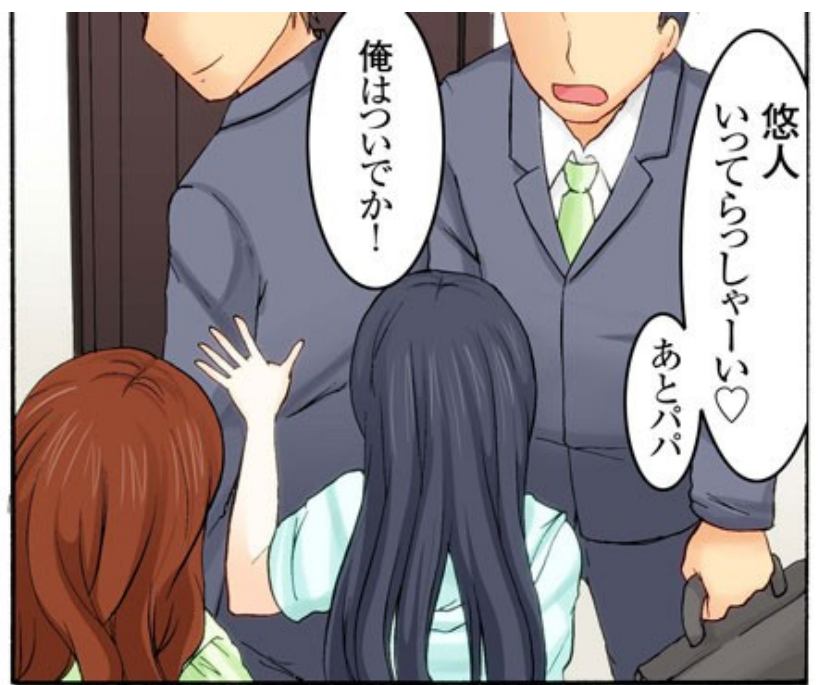


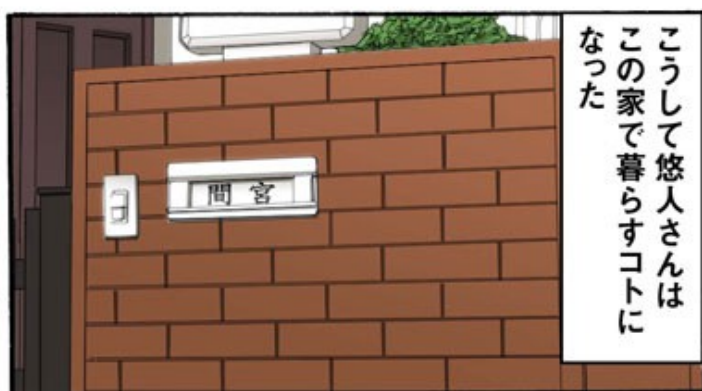
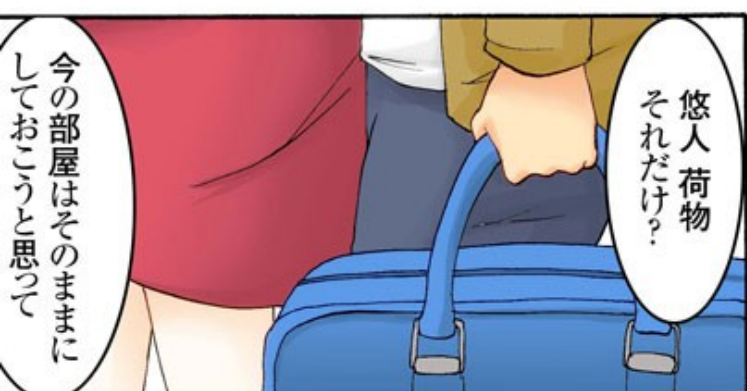
さすがに今のは
ヒヤツとしたな…



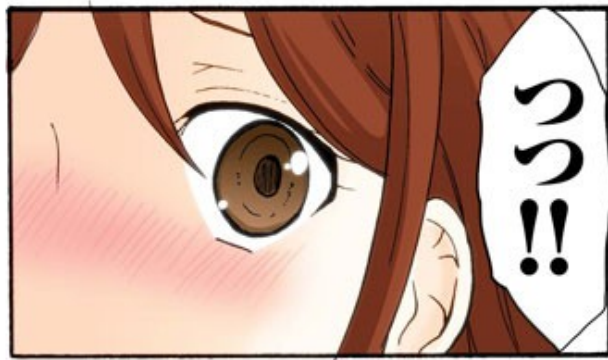
あすいません
いつもよりいっぱい
出ちゃったかな

つい僕も
興奮して













やっぱりシングルじゃ狭いしね

新しい家では大きいベッド買おう

.....



もーなんて下で寝るの〜



なんか〜悠人とママ仲良すぎじゃない？



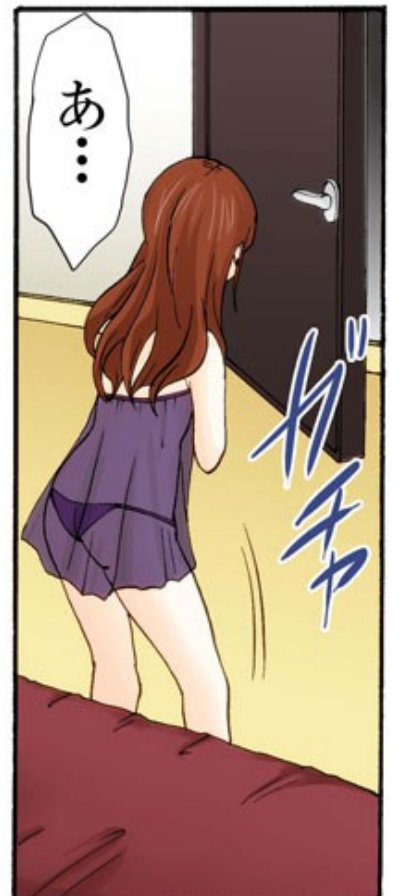
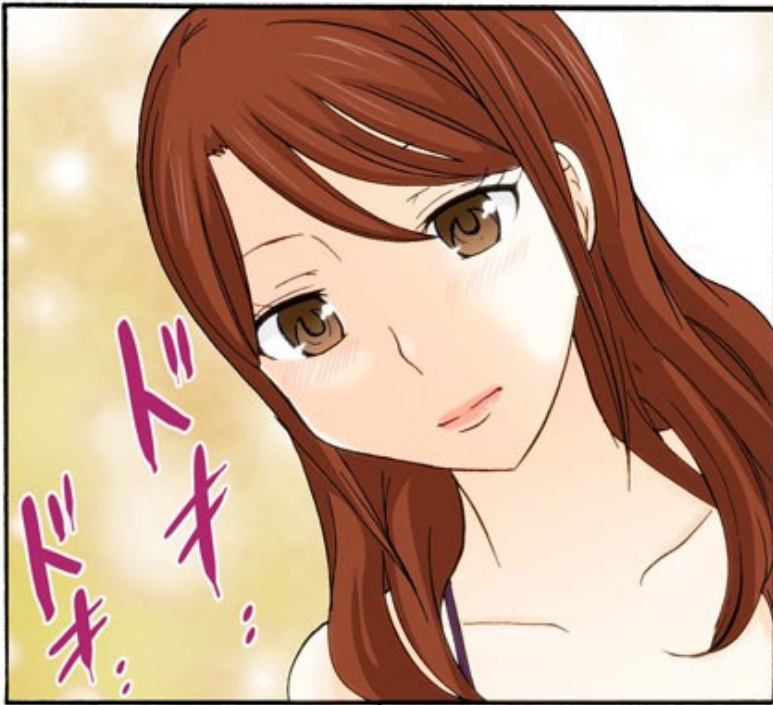
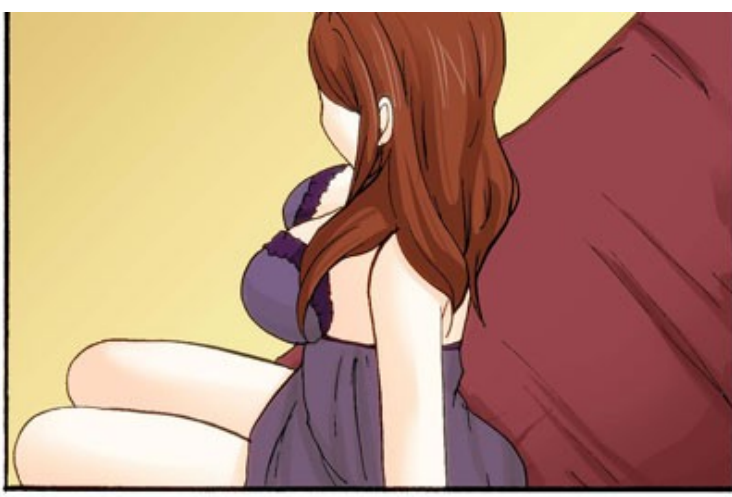
サクラ：最近ずっと機嫌悪いよね？
体調良くないの？



大丈夫だよ



そうか？...「家族」
なんだから仲良くしたいよ







構うもんか
俺の家だ

ま待つて

隣の部屋に
あのコ達が



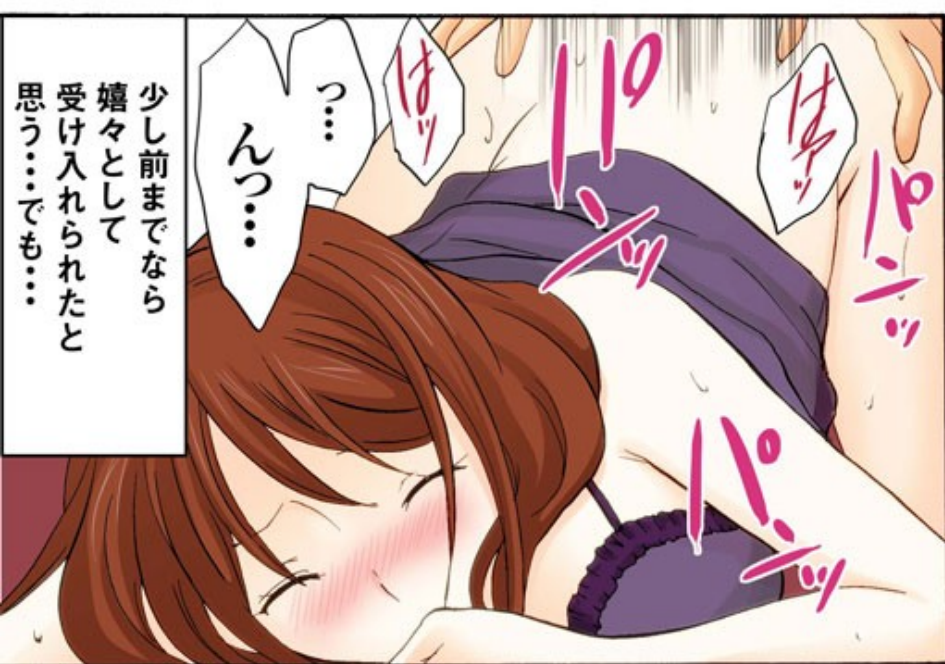
肌ツヤ良くなったか？
化粧品でも変えたのか



くちゅっ

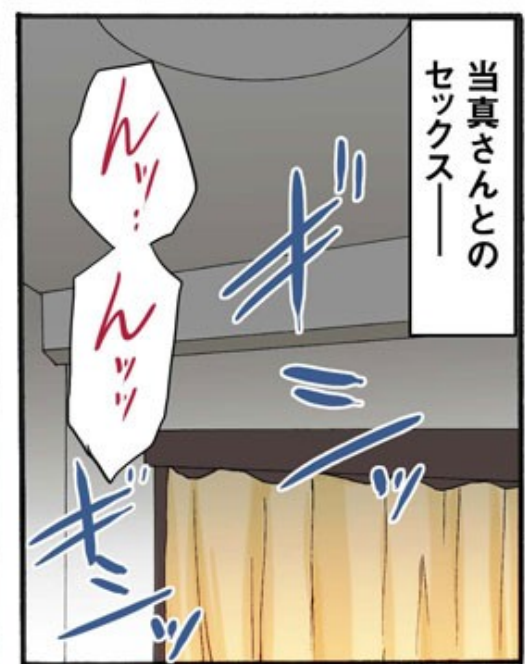
お前もその気じゃ
ないかこんなに
濡らして…

っ…



んっ…

少し前までなら
嬉々として
受け入れられたと
思う…でも…



当真さんとの
セックス…

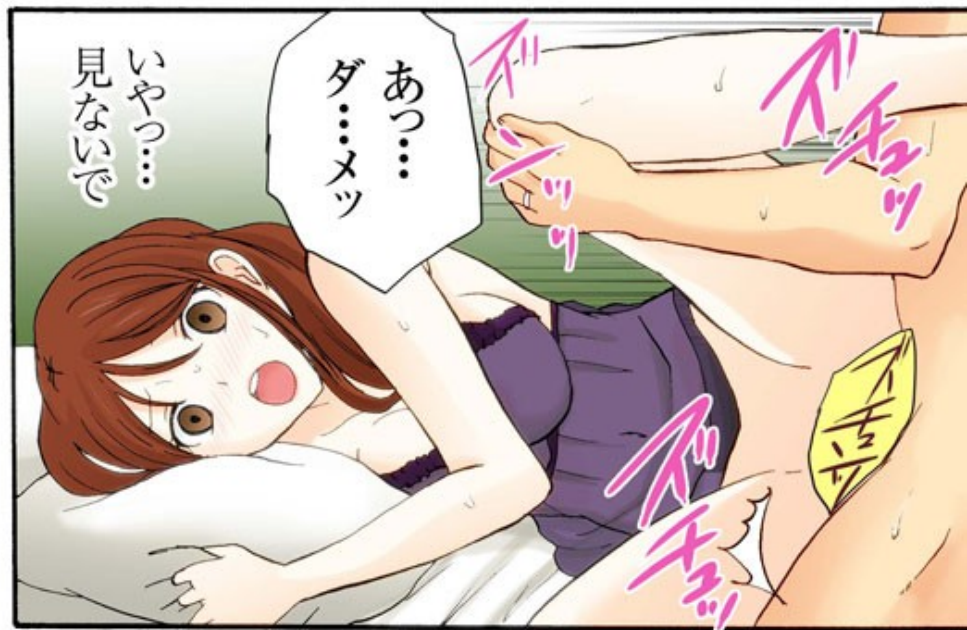
んっ…
んっ…

ギ
ニ
ツ



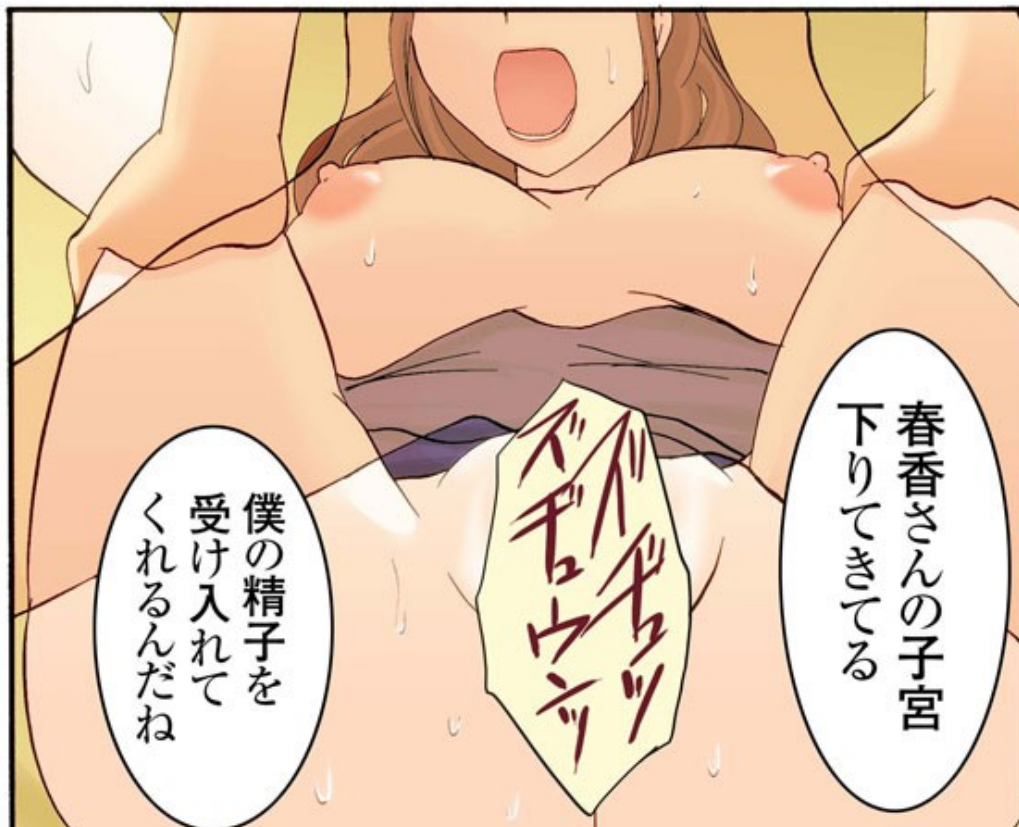
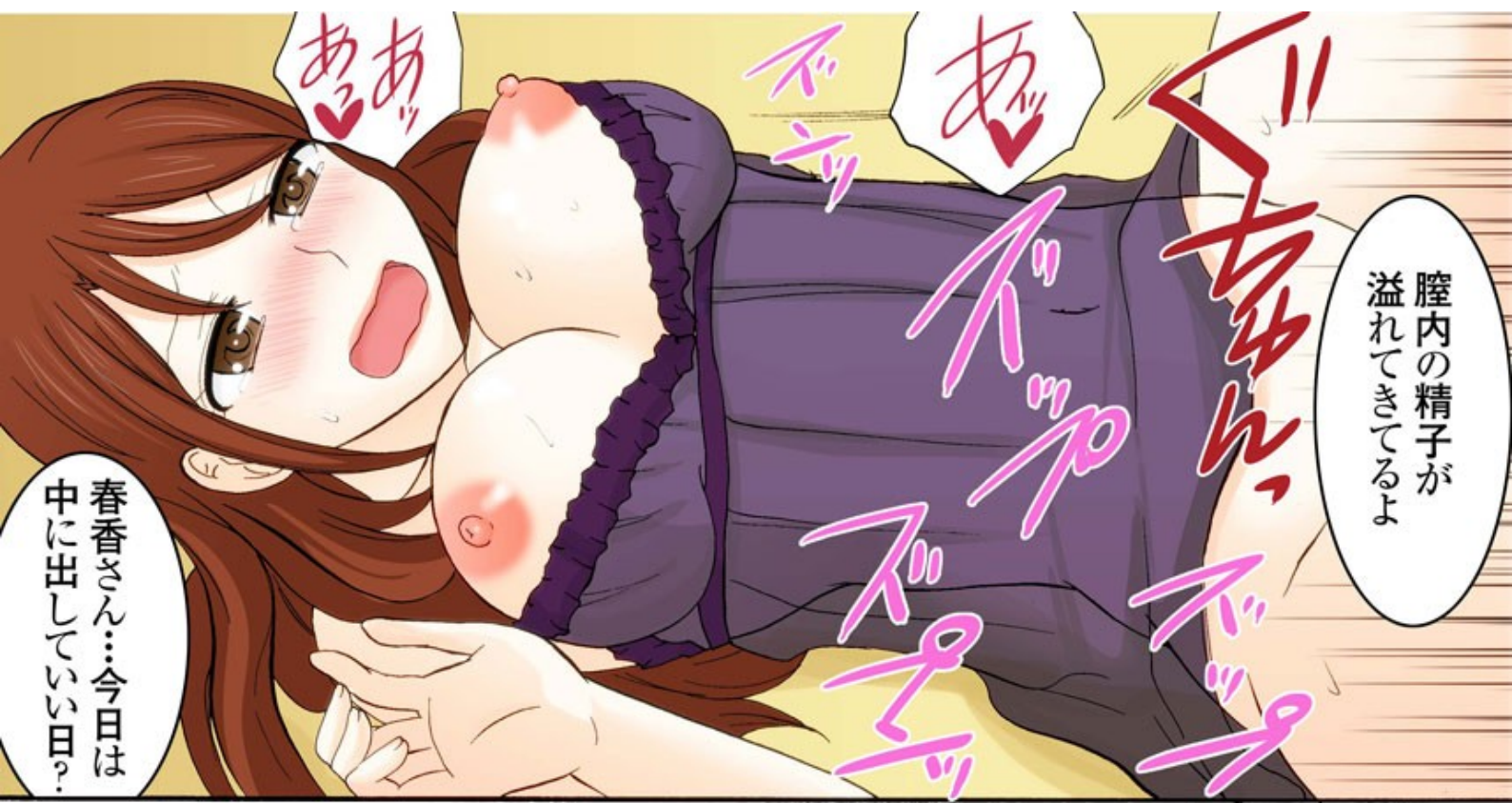
んっ…
んっ…

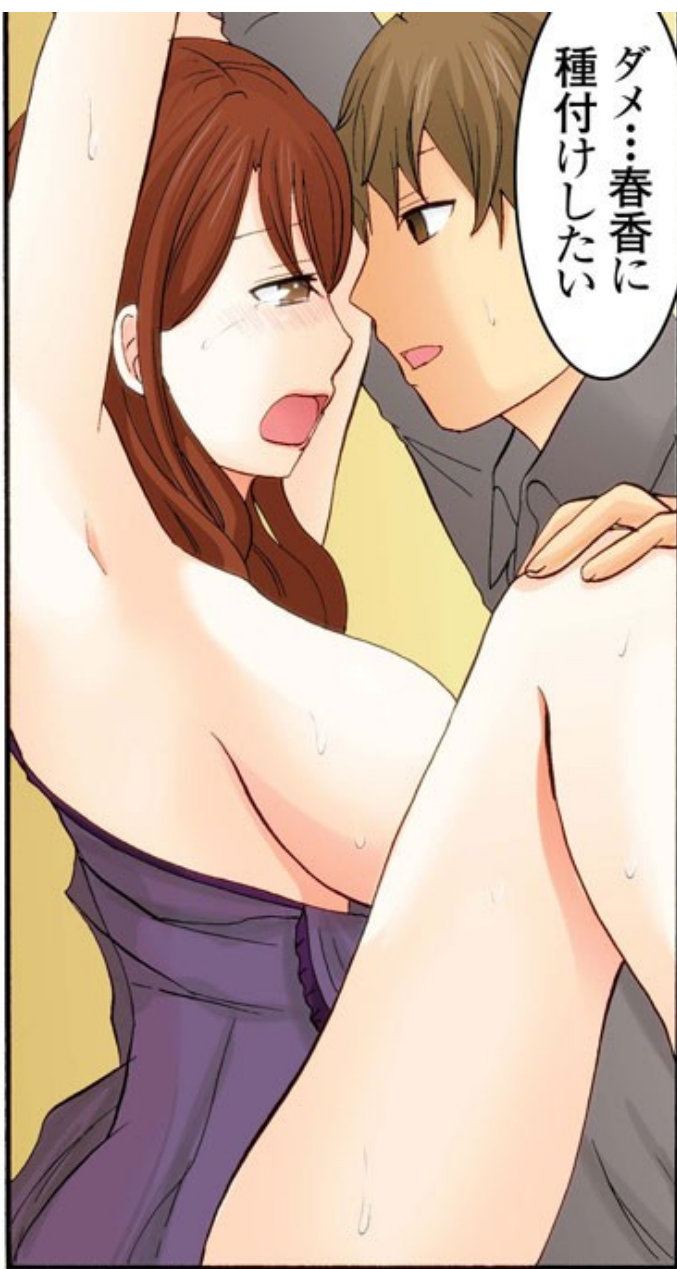
私は
彼とのセックスを
知ってしまった…
もう
こんなセックスじゃ
満足出来ない











ダメ…春香に
種付けしたい



ホント…につダメ
中はっ…やめて
お願いっ！

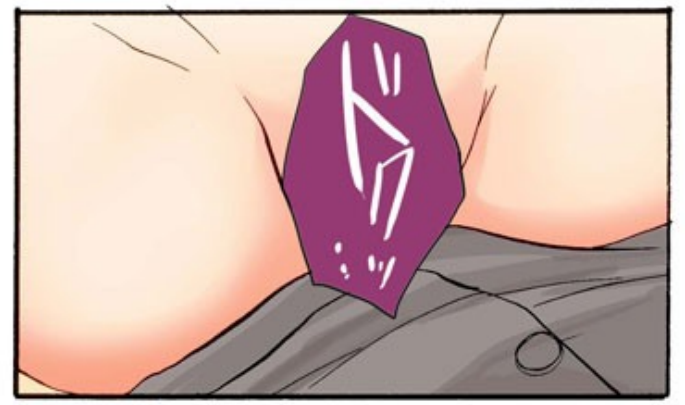
んッ
あア

あ
〜



あ…ああ…

ドク
ドク
ツツ



ド
ク
ツツ



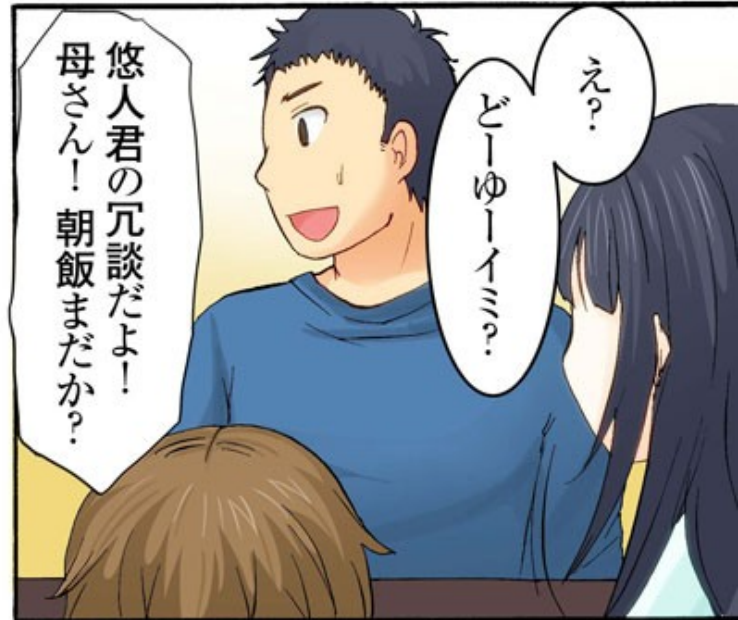
熱い…悠人さんの
精液いっぱい
飲み込んだ…

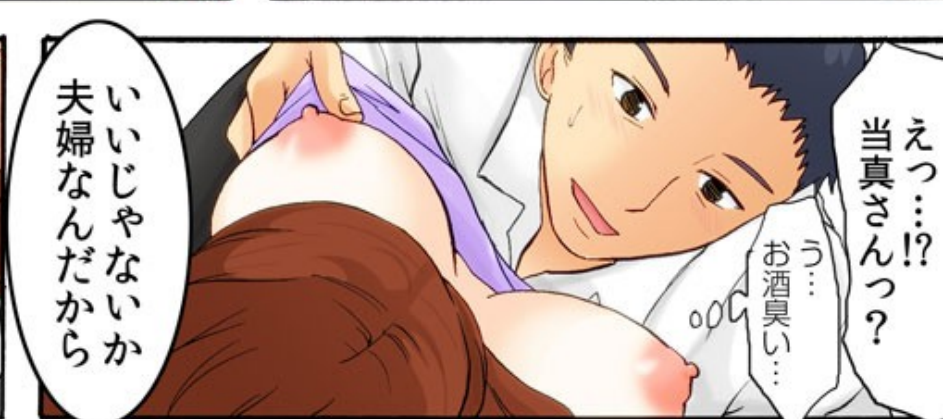
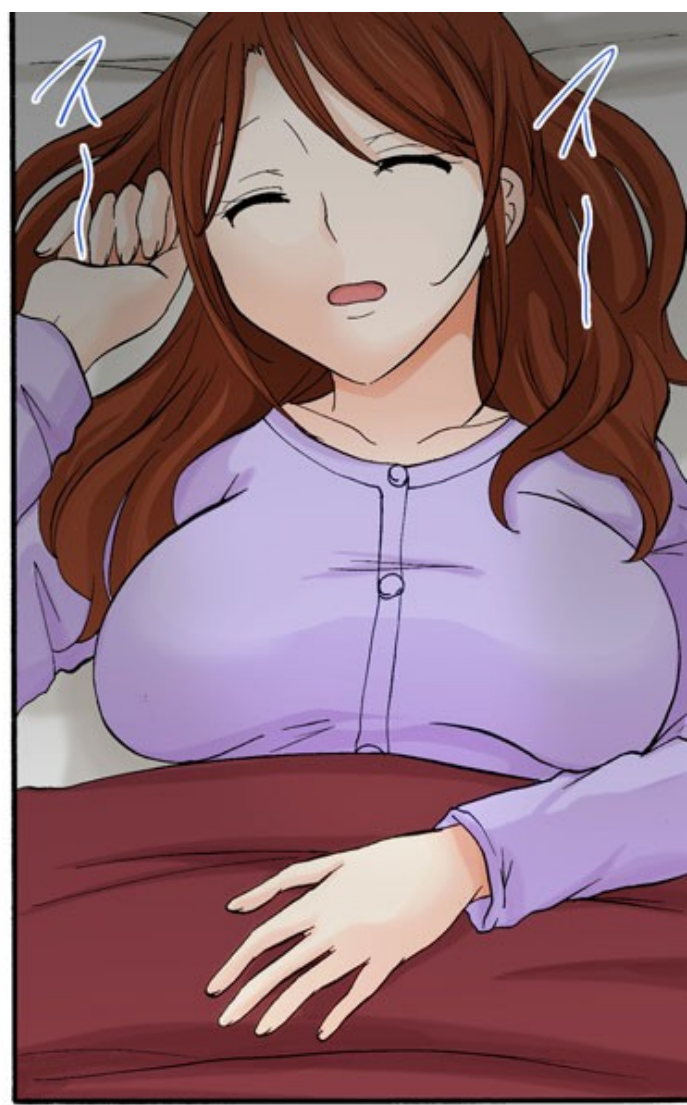
エロ
〜



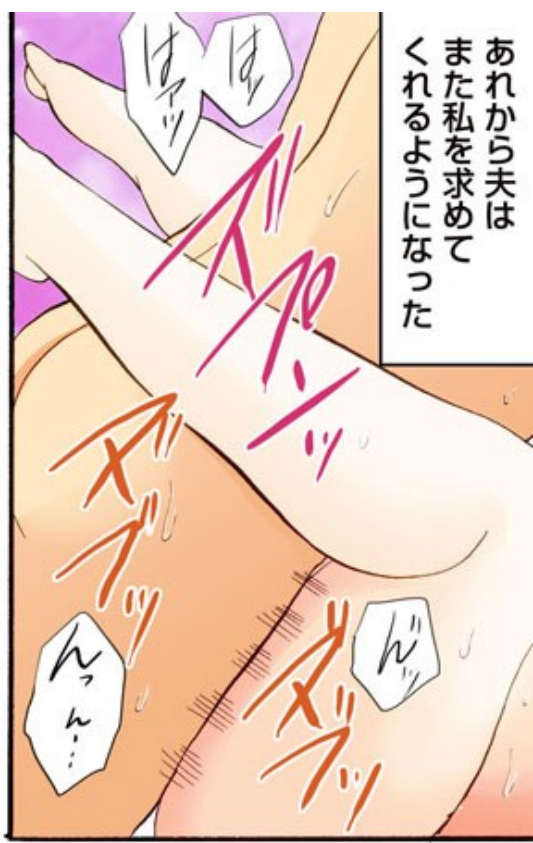
はアッ…

ブル
〜

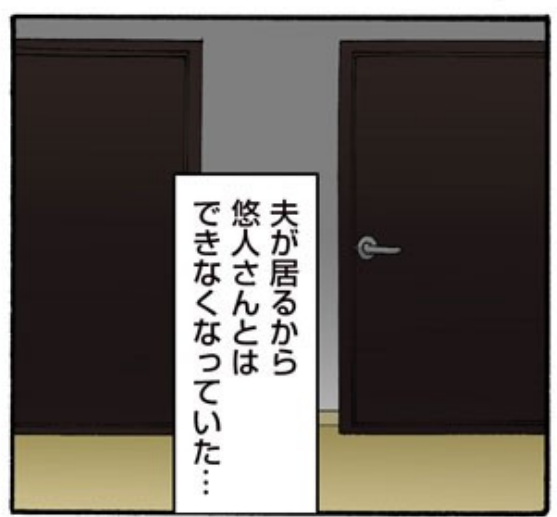




あれから夫は
また私を求めて
くれるようになった



でも…
悠人さんとのセックスを
知ってしまった私は…
満たされる事はなかった



夫が居るから
悠人さんとは
できなくなっていた…



はっ…



レスは解消したのに
前より欲求不満に
なってる…



春香さん！



悠人さん！
もう帰りなの？

出張先から
直帰だったので



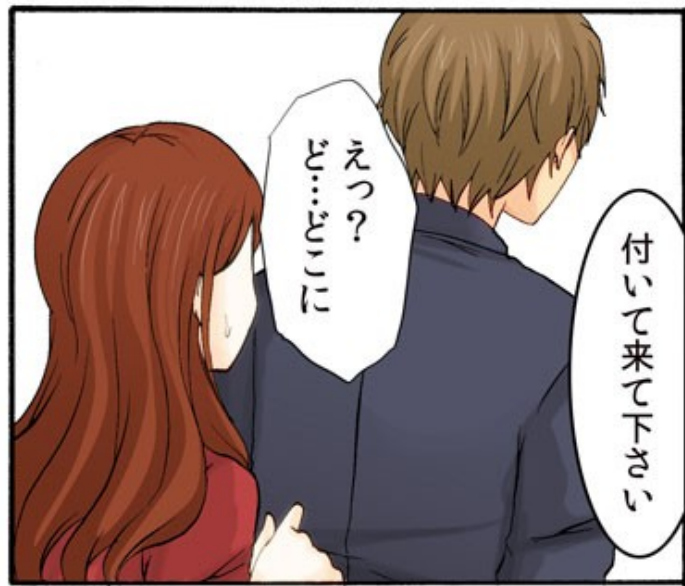
どうしましたか？
そんな物欲しそうな
顔して



熱いですね



悠人さん…



付いて来て下さい

えっ？
ど…どうして



やめて…っ
誰かに見られたら…



なら…誰にも
見られない所に
行きましょう





悠人さん…
欲し…いっ



わ…たし…っ
ダメなのっ
悠人さんじゃないと
満たされないっ



あはアア♡
はっ♡

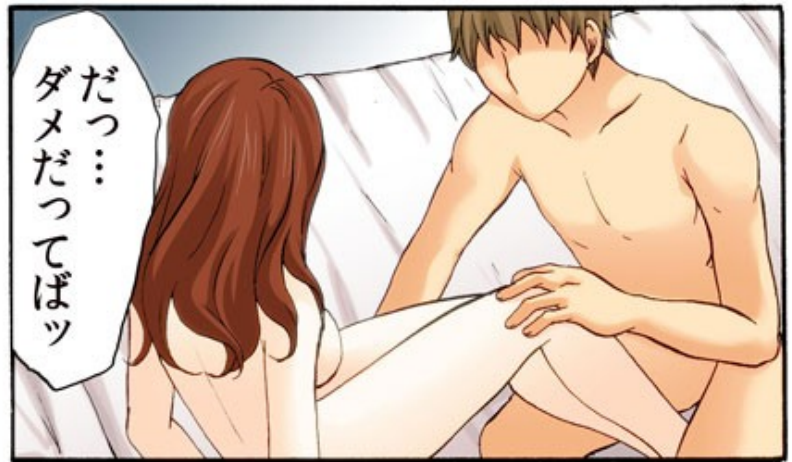


おま○こ
トロトロですよ…
春香さん

やんっ…



ああ…悠人さんの
おち○ちん
すごく熱いっ♡
早く…早く
欲しいっ







わ…たし…っ
いきっぱなし…♡

ああっ…もオ意識
飛んじやいそっ…♡



パパ!

こらこらっ
走るな! 転んだら
どうする!



ただいま



もーっ! パパからも
何とかいつてよー!

どっどうした
いきなり

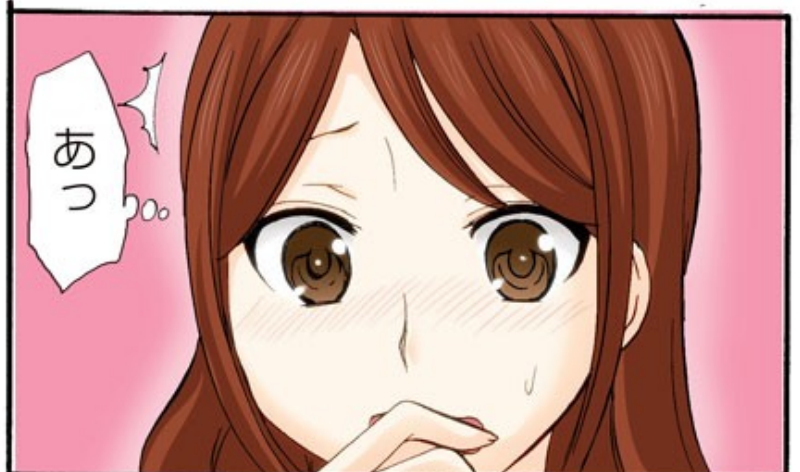


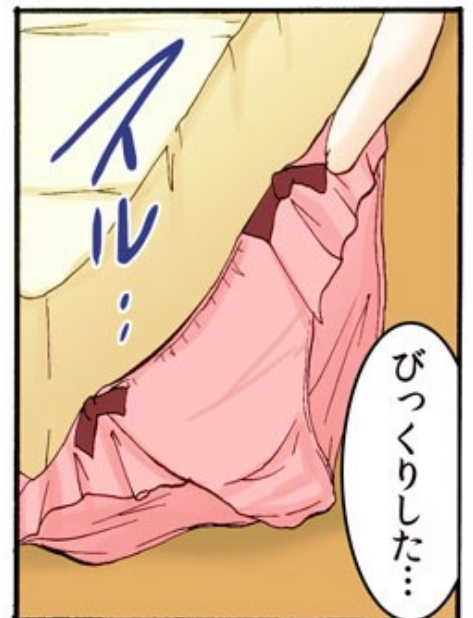
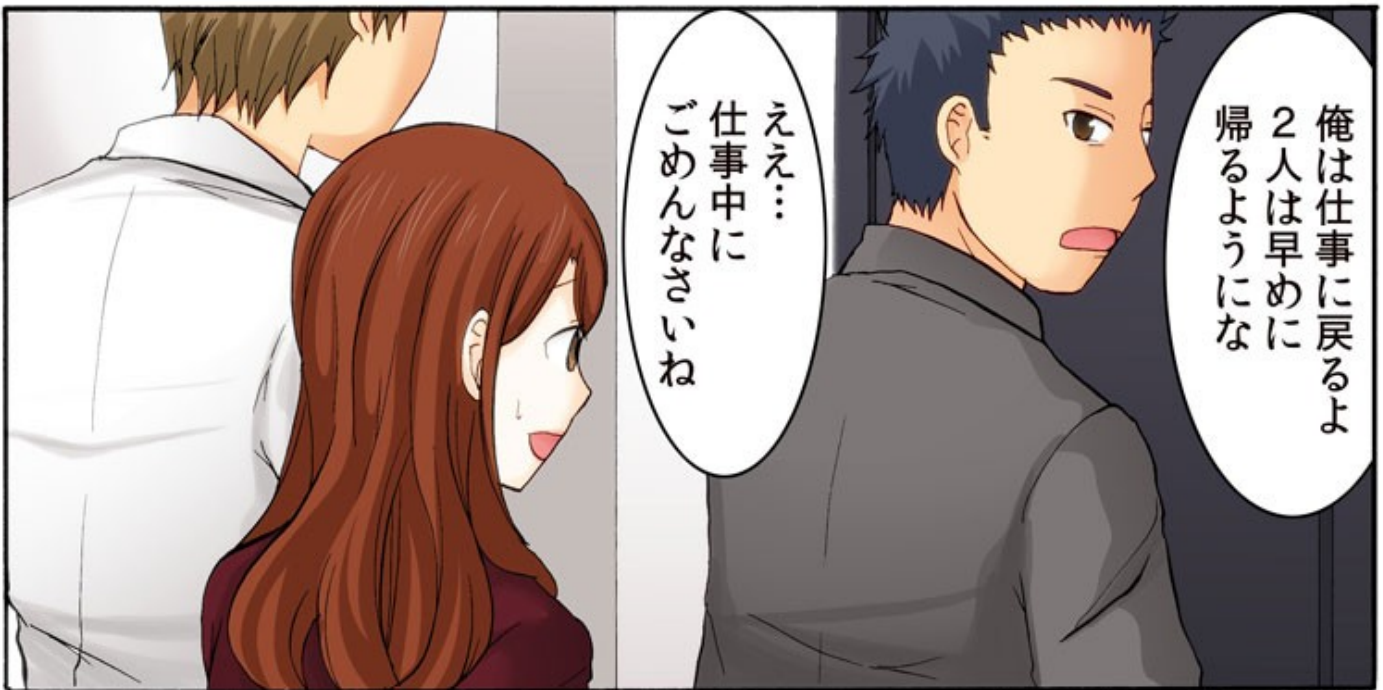




こうですか?
春香さん









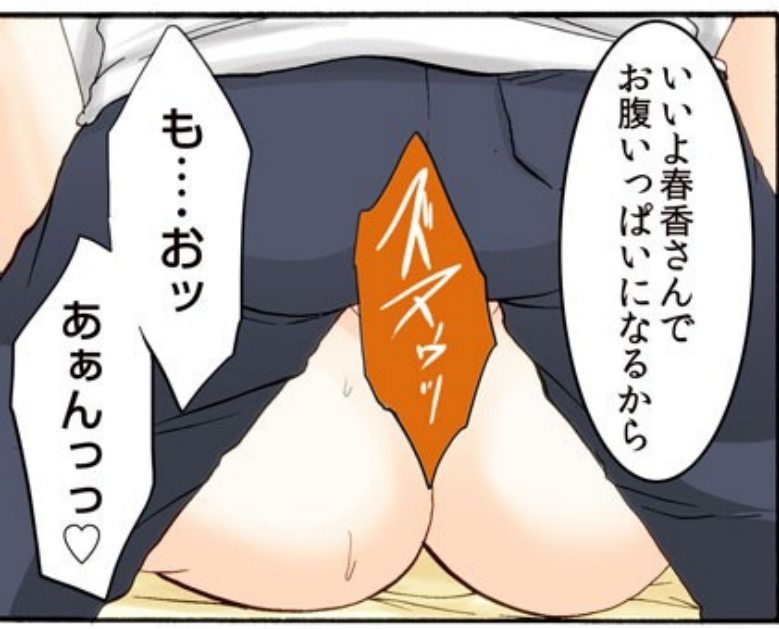
あ…

ぎゅっ



サクラへのサプライズは
本当なんだけど…

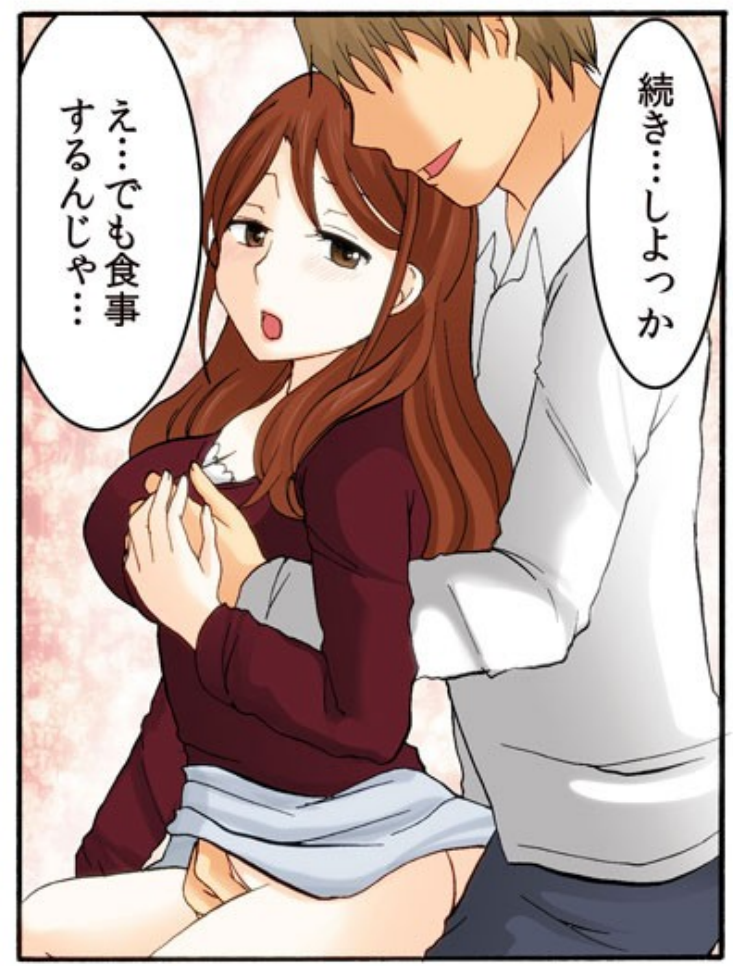
そんな心配してたのね…



いいよ春香さんで
お腹いっぱいになるから

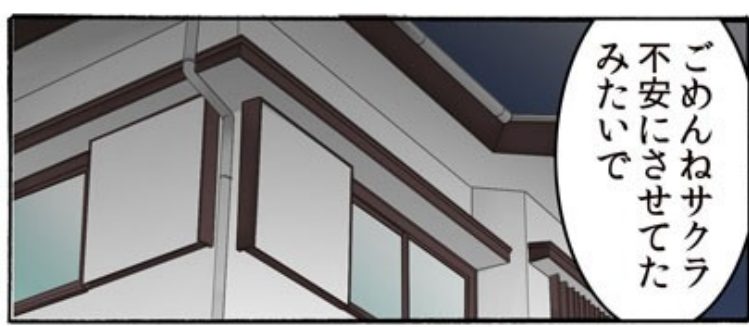
も…おツ

ああんっっ♡



続き…しよっか

え…でも食事
するんじや…



ごめんねサクラ
不安にさせてた
みたいで

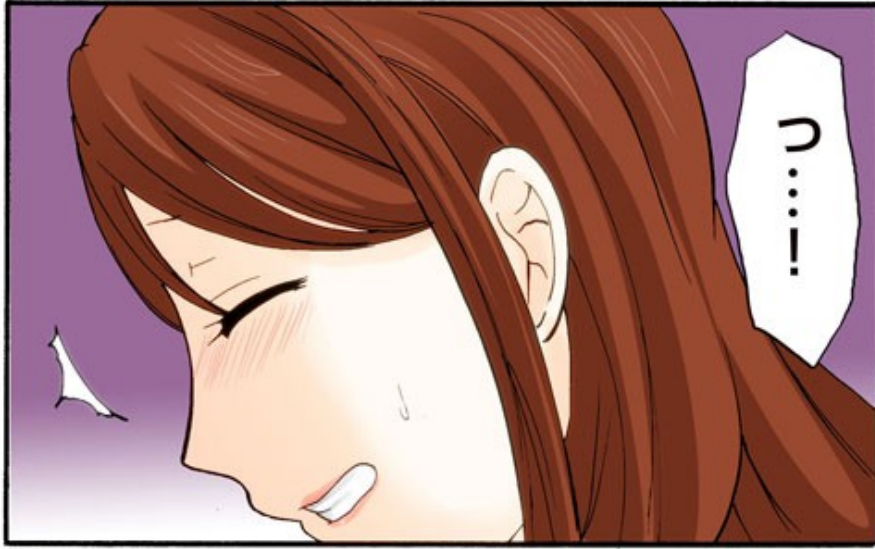


そうなんだ…悠人
私の為にプレゼント
考えてくれてたなんて

当日まで内緒に
してきたかったけど…
それよりサクラを
安心させたかったしね



自分が選んだ人
なんだから信じて
あげなきゃダメよ



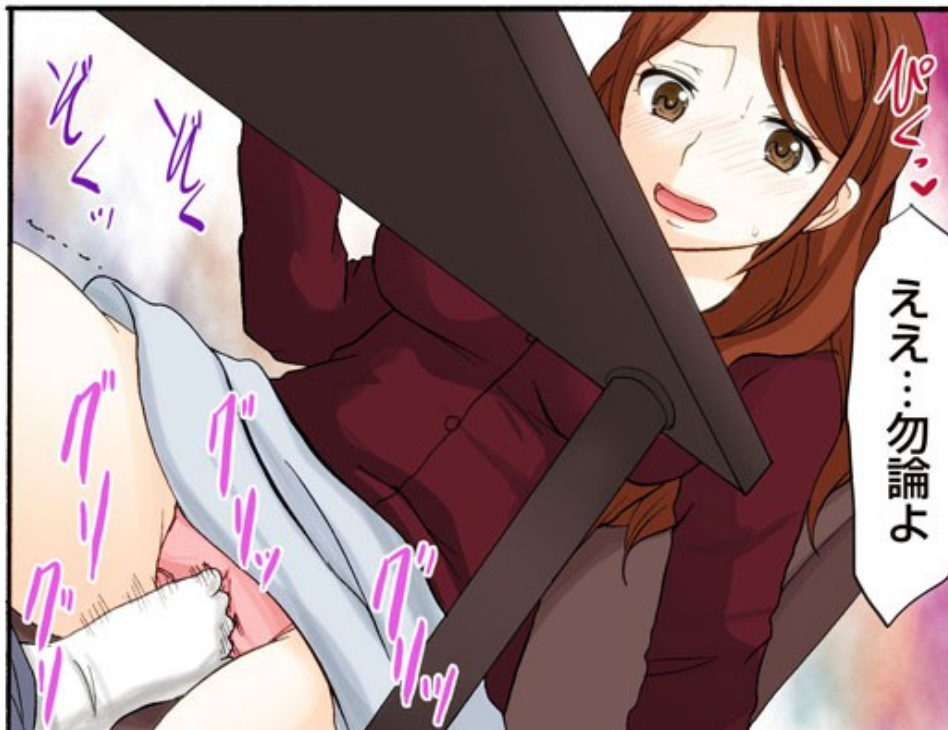
っ……!



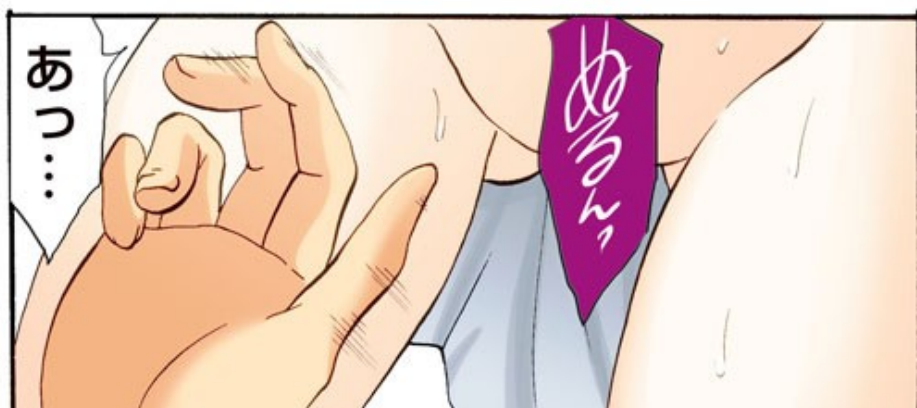
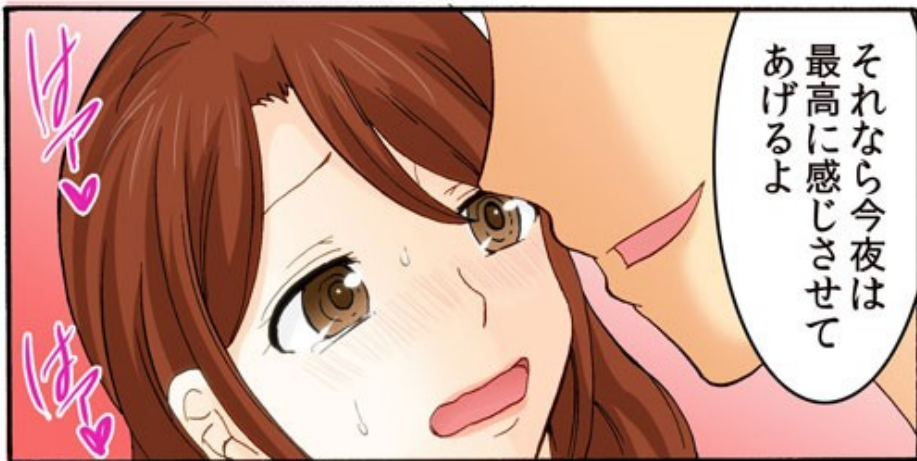
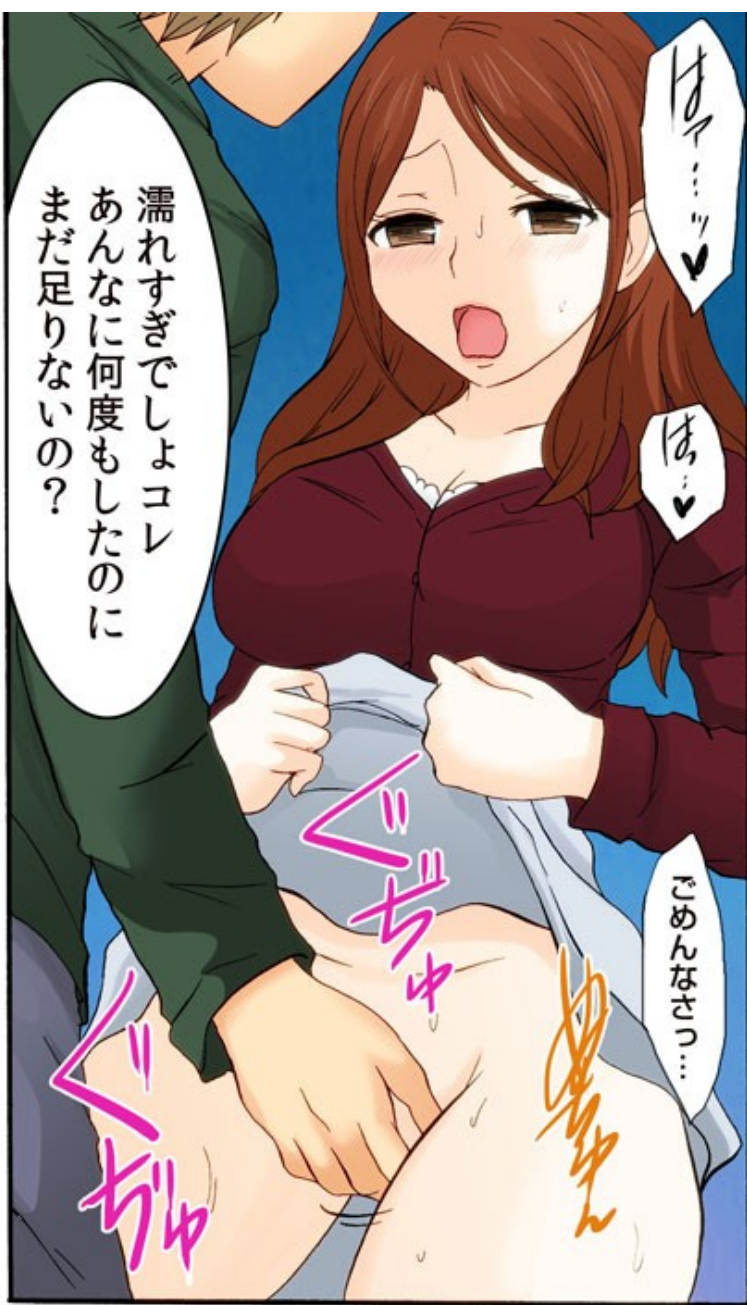
いいんだよ
サクラが大事なのは
僕もお義母さんも
同じなんだから
ねえ?

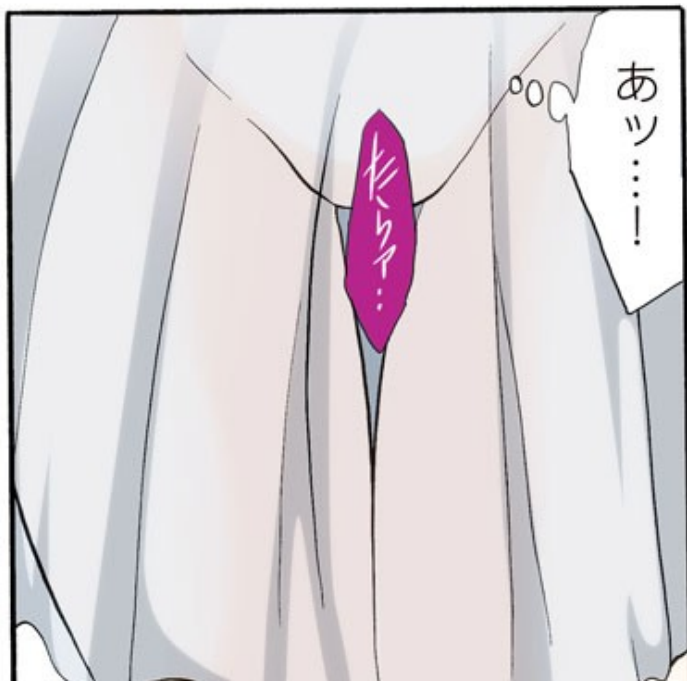
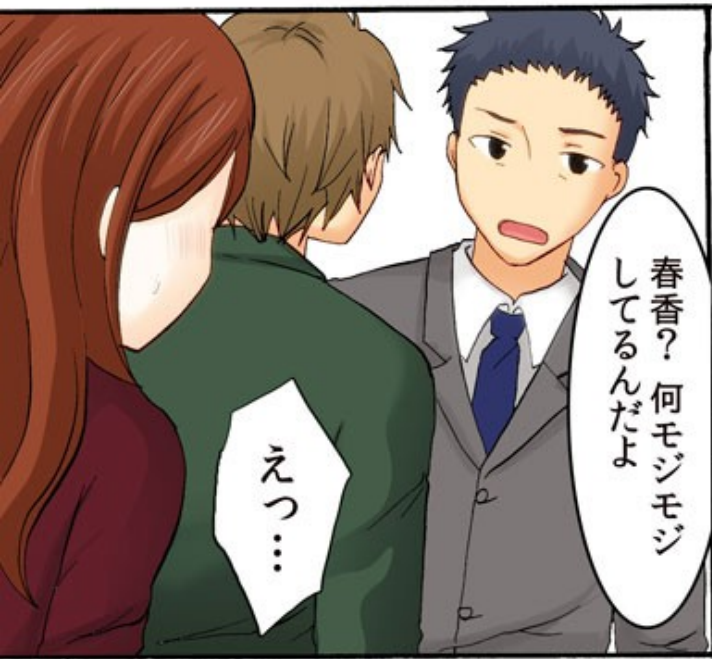


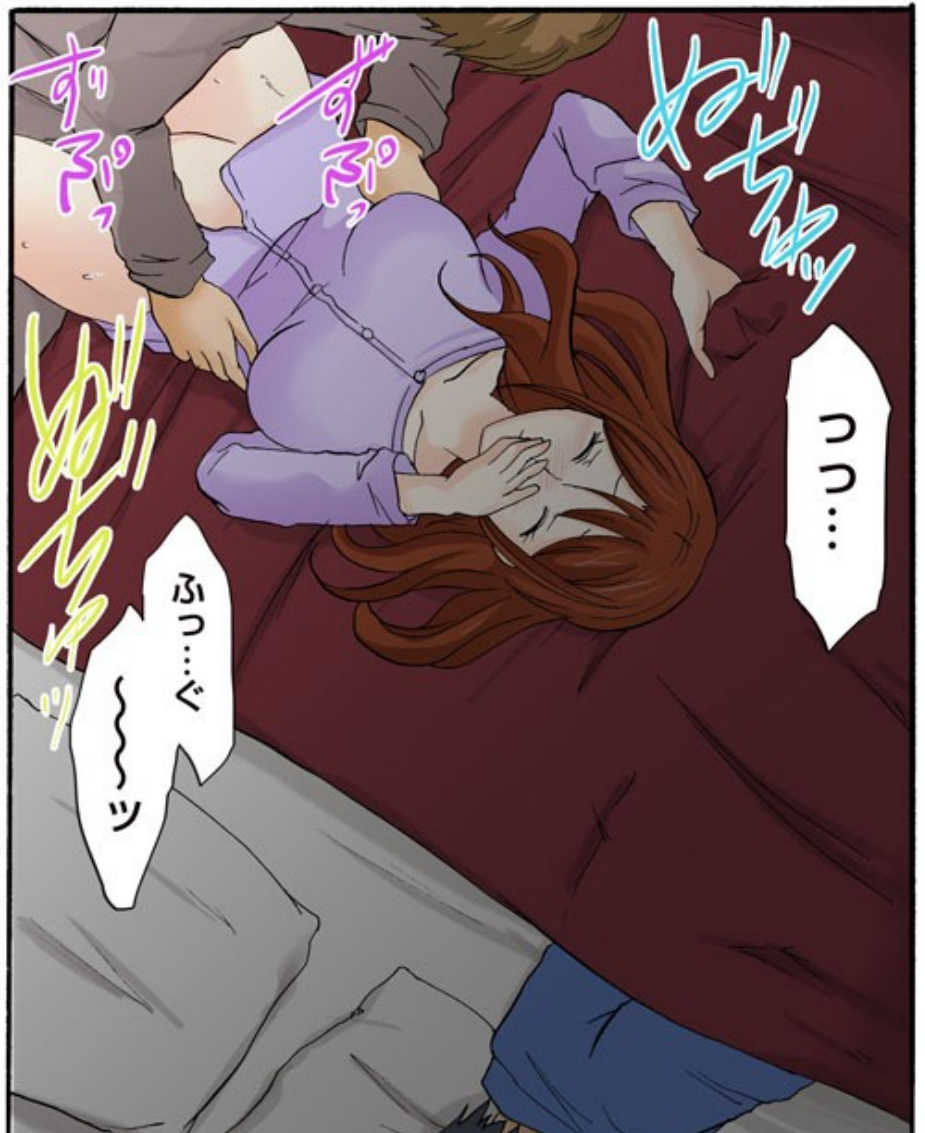
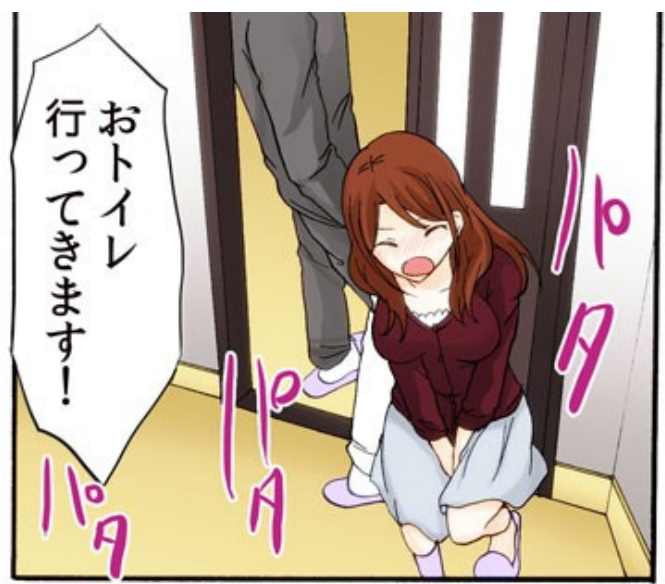
ごめんなさい
ママ…悠人

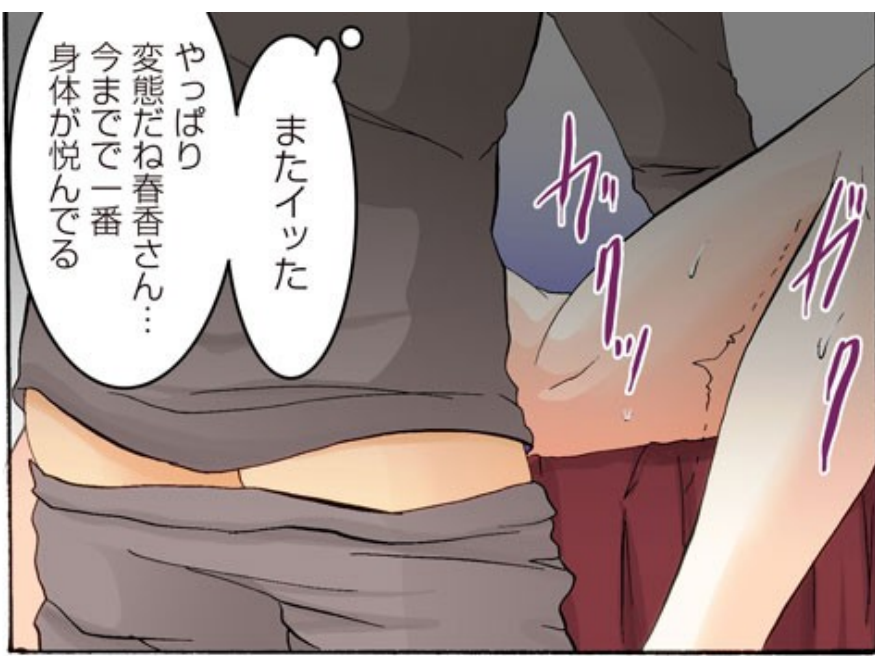


ええ…勿論よ





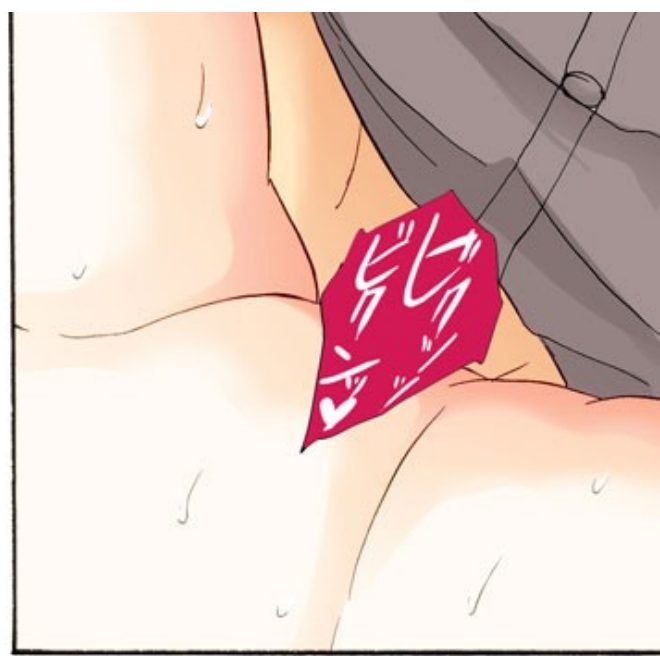




またイッた

やっぱり

変態だね春香さん…
今までで一番
身体が悦んでる



これ以上…
やめてっ…

もっ…いき過ぎて
声…抑えられない





声我慢してエライね
ご褒美にいっぱい
突いてあげる…



あア~~~~ッ

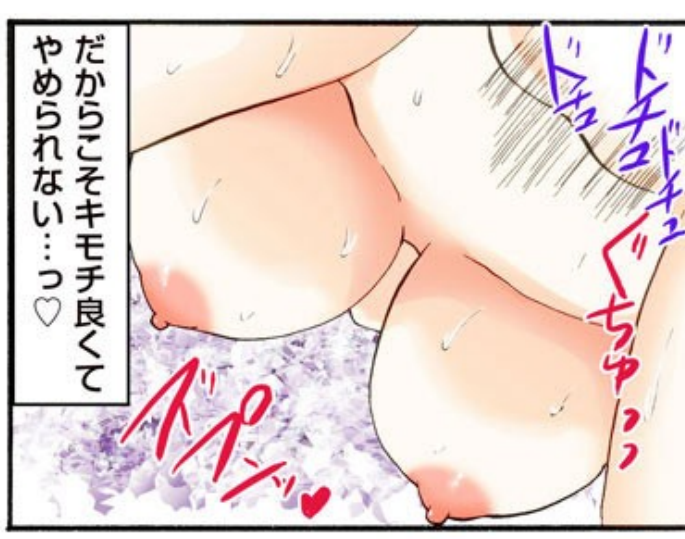
あッ
ッッ



こんな関係…いつかばれて
全て失うかもしれない



この人が娘と結婚して
くれて本当に良かった…



だからこそキモチ良くて
やめられない…っ♡

娘の夫に迫られて

～快樂に負けた人妻～

著者 綾乃るみ/@子猫

発行 株式会社チャンスドライブ

本書の無断転載・複製等は著作権法上禁止されております。